

消 防 年 報

平成 2 0 年 版



伝統を受け継ぐ 七夕踊り (国指定重要無形文化財)

い ち き 串 木 野 市 消 防 本 部

(平成 2 1 年刊行)

はじめに

この年報は、いちき串木野市消防本部の現況及び平成20年度における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を得るため編集したものであります。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関する事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

平成21年 6月

いちき串木野市消防本部

目 次

I 総 括

1	いちき串木野市のあらまし	1
2	市域の変遷	2
3	消防の沿革	2
4	歴代消防長	
(1)	旧串木野市消防本部	9
(2)	いちき串木野市消防本部	9
5	歴代消防団長	
(1)	旧串木野市	10
(2)	旧市来町	10
(3)	いちき串木野市	10

II 総 務

1	消防の組織	11
2	消防本部・消防署・分遣所の事務分掌	12
3	いちき串木野市消防現勢分布図	14
4	消防庁舎・分遣所・詰所（車庫含む。）の状況	
(1)	消防本部（署）・分遣所	15
(2)	消防団	15
5	平成20年度の主な行事	16
6	消防予算	
(1)	平成20・21年度消防予算	17
(2)	市総予算と消防予算	18
(3)	消防予算と人口・世帯数との比較	18
7	人事・教養	
(1)	消防職員の配置状況	19
(2)	消防職員の年齢	19
(3)	消防職員の勤続年数	20
(4)	消防職員の階級別及び過去3年間の教養状況	20
8	消防団	
(1)	消防分団所轄区域、定員及び幹部名	21
(2)	消防団員の勤続年数	22
(3)	消防団員の年齢	22

(4) 消防団員出場状況表	2 3
(5) 消防団員の報酬等	2 3
9 いちき串木野市消防連合後援会	2 4
1 0 表 彰	2 4

Ⅲ 予防・危険物

1 防火対象物の状況	2 5
2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）	2 6
3 建築同意事務等処理状況	
(1) 建築同意状況	2 7
(2) 専用住宅建築確認通知状況	2 7
4 消防用設備等設置検査実施状況	2 7
5 消防法関係届出状況	2 8
6 火災予防条例関係届出状況	2 9
7 防火啓発状況	3 0
8 危険物施設の状況	3 0
9 危険物関係許可・検査処理状況	3 1
1 0 危険物施設の立入検査状況	3 1
1 1 液化石油ガス等の保安指導状況	3 2
1 2 串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況	3 3
1 3 消防協力団体の結成状況	
(1) いちき串木野市幼少年婦人防火委員会	3 6
(2) 幼年消防クラブ	3 6
(3) 婦人防火クラブ	3 6
(4) 防火管理協会	3 7
(5) 危険物安全協会	3 7

Ⅳ 火災・救急・救助

1 平成20年中の火災発生状況	3 8
2 火災統計	
(1) 平成20年中の火災状況	3 9
(2) 過去5年間の年別火災概要	4 0
(3) 過去5年間の原因別火災発生件数	4 0
(4) 過去5年間の月別火災発生件数	4 1
(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数	4 1

(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数	4 2
(7) 火災発生時の気象状況	4 3
3 いちき串木野市における大火記録	4 4
4 救急業務統計	
(1) 救急業務の沿革	4 5
(2) 救急業務取扱状況	4 6
(3) 傷病程度別搬送状況	4 6
(4) 診療科目別搬送状況	4 7
(5) 搬送別状況	4 7
(6) 覚知別出場状況	4 7
(7) 居住地別搬送状況	4 7
(8) 救急救命処置実施状況	4 7
(9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況	4 8
(10) 曜日別救急出場状況	4 9
(11) 現場到着所要時間別出場件数	4 9
(12) 収容所要時間別搬送人員	4 9
(13) 時間別出場状況（急病件数及び総件数）	5 0
(14) 市別搬送状況（搬送先）	5 0
(15) 救急出場件数の推移	5 1
(16) 過去5年間の救急出場状況	5 1
(17) 年齢別搬送人員状況	5 2
(18) 各比率	5 2
5 救助業務統計	
(1) 救助出動状況	5 3
(2) 過去5年間の救助出動状況	5 3
6 応援協定等の締結状況	5 4

V 機械・水利

1 消防力の整備指針と現有消防力との比較	
(1) 消防本部（署）	5 5
(2) 消防団	5 5
(3) 消防職・団員と市民との割合	5 5
2 消防機械器具及び水利状況	
(1) 消防署の消防車両状況	5 6

(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況	
ア 串木野地域	5 7
イ 市来地域	5 8
(3) 署・各分団ポンプ及びホース保有状況	5 9
(4) 消防資機材の保有状況	6 0
(5) 消火薬剤等の保有状況	6 1
(6) 原子力防災資機材の保有状況	6 1
(7) 消防水利の状況（消防水利の基準に適合しないものも含む。）	
ア 串木野地域	6 2
イ 市来地域	6 3
(8) 消防無線の状況	
ア 消防本部	6 4
イ 消防団	6 5

VI 気 象

1 気象観測の状況	6 6
2 風向の状況	6 7
3 各地の降水量（防災テレメーターによる。）	6 7

I 総括

面積	112.02km ²
人口	31,424人
世帯数	13,459世帯

(平成21年4月1日現在)

1 いちき串木野市のあらまし

いちき串木野市は、平成 17 年 10 月 11 日、旧串木野市と旧日置郡市来町が合併して誕生した新しい市である。

本市は、薩摩半島の北西部にあり西は東シナ海に面し、日本三大砂丘のひとつである吹上浜の北端に位置している。北東側には、標高 516 メートルの徐福伝説のある霊峰冠岳及び 519 メートルの弁財天を最高に数々の分峰が連なり、北は薩摩川内市と接し、南は大里平野と小丘をもって日置市に接している。また、東シナ海に面した良港に恵まれ、近海・遠洋漁業が盛んに行われ「マグロのまち串木野」として知名度が高い。

本市には、今から 4000 年～3000 年前（縄文時代後期中ごろ）から既に人が住みつき、土器を使用し海と関わり、陸地で植物を栽培する生活をしていたことが実証されている。その証として、市来川上貝塚の発見研究により、市来式土器と呼ばれる様式の土器などが多数発掘され、その時代から海と陸の関わりある生活を営んでいたことがうかがわれ、時代とともに集落などの形を変え現在に至っている。

市来湊町では、今から約 400 年前、島津義弘の朝鮮役での活躍を祝って踊られた国指定の重要無形民族文化財の「七夕踊り」や約 200 年前、商港、宿場町として栄えたころ、京都の祇園祭に似せて行われたという「祇園祭」など、その昔からの芸能を現在も引き継いできており、海を介して経済、文化などに影響がもたらされている。

江戸時代末期（1865 年）には、薩摩藩の命により我が国初の海外留学生一行 19 名が、ヨーロッパへ向けて密かに出航し、初代文部大臣森有礼らなど近代日本の幕開けの原動力となった若き薩摩の志士一行が出航した黎明の地が羽島である。

平成 6 年に完成した串木野国家石油備蓄基地は、西薩町から荒川地内にかけて地下の岩盤内にトンネル 10 本を掘削し、我が国で消費される 3 日分に相当する 169 万キロリットルの原油を国の政策に基づき、常圧貯蔵横穴水封固定水床式で備蓄している。

このように本市は、昔から海との関わりが深く、様々な恵みをもたらす海を背景に焼酎・つけあげ・柑橘類などの地元産品、近年ではまぐろラーメン・ポンカレーなど食に関する知名度も向上し、様々な特色のある資源を有しており、現在、港湾施設や臨海部の整備を進めるとともに、企業誘致を図り、串木野新港を主に中国・東南アジア等との国際交易圏づくりをめざしている。

また、南九州西回り自動車道の整備や内陸部の開発などにより、本市を取り巻く交通・物流体系が一段と整備され、活発化している。

古い歴史と伝統のあるまち、白砂青松の吹上浜、山と緑の美しい環境の新しいいちき串木野市は、新市の基本理念として、「ひとが輝く 地域が輝く～地域ブランドによる自立したすこやかな都市の創造～」を設定し、「ひとが輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち」を将来の都市像に掲げ、新しいいちき串木野市の創造に向けて努力しているところである。

2 市域の変遷

年 月 日	事 項	面 積 (km ²)	人 口			世帯数
			計	男	女	
明治 22. 4. 1	冠岳村、上名村、下名村、荒川村、羽島村の 5 ケ村が合併して串木野村となる。	79.60	—	—	—	
明治 22. 4. 1	湊村、大里村、川上村が合併して、市来村となる。					
昭和 5. 4. 1	町制施行 (市来町)					
昭和 10. 4. 1	町制施行 (串木野町)	79.60	24,637	11,727	12,910	5,501
昭和 25. 10. 1	市制施行 (串木野市)	79.60	33,884	16,483	17,401	7,182
平成 17. 10. 11	串木野市、市来町の 1 市 1 町で合併して、いちき串木野市となる。	112.02	33,087	15,516	17,571	13,601

3 消防の沿革

明治 36 年 12 月	○串木野村消防組創立
大正 5 年 9 月	○腕用ポンプ購入
大正 5 年	○市来村湊町に公設消防組を組織 (他の地域は、私設消防組を組織)
大正 9 年	○青年団により私設の島内消防組を組織 (鷹口10丁、水汲み用木製ツルベ10個、梯子1つを配備)
昭和 6 年 10 月	○行幸記念事業で手引ガソリンポンプ購入
昭和 9 年 5 月	○消防ポンプ自動車 (フォード) 購入
6 月	○優良消防組として県知事表彰を受ける。
昭和 10 年 4 月	○町制施行により串木野町消防組に改称
昭和 14 年 4 月	○内務省令により串木野町警防団 (7 分団) に改称 ○市来町警防団を結成 (4 分団)
昭和 20 年 6 月	○中央分団地区から本浦地区を分離し、水上分団を設立
昭和 22 年 8 月	○警防団の組織を串木野町消防団 (8 分団)、市来町警防団 (4 分団) として改編
昭和 23 年 5 月	○串木野町消防団常備部発足 (部員 12 名、消防車 [フォード] 1 台)
9 月	○電話器が常備詰所に設置される。
昭和 25 年 8 月	○優良消防団として消防庁長官表彰を受ける。
10 月	○市制施行により串木野市消防団と改称
昭和 26 年 4 月	○常備部団員定員 14 名となる。(2 名増員)
昭和 29 年 1 月	○常備部詰所を浜田通りロータリー南西角に移転 (現在の旭町 1 番地)
3 月	○常備部に消防ポンプ自動車 (日産) を購入
4 月	○串木野市消防本部・消防署設置 (職員数 15 名) 初代消防長 大園純夫就任
10 月	○消防職員 1 名退職 1 名採用 (実員 15 名)
昭和 30 年 6 月	○中央分団に消防ポンプ自動車 (トヨタ) を購入し、運搬車を照島分団に配置替
8 月	○水上分団及び照島分団に小型動力ポンプ (ラビット) を購入
9 月	○消防団定数条例改正 237 名となる。 ○水上分団を本浦分団に改称
昭和 31 年 5 月	○消防職員 1 名退職 1 名採用 (実員 15 名)
昭和 31 年 10 月～ 昭和 32 年 10 月	○生福、旭、羽島、荒川、冠岳、中央の各分団に小型動力ポンプ、本浦分団に運搬車を購入

昭和33年	4月	○消防団定数条例改正 227名となる。
	6月	○消防職員1名退職1名採用(実員15名)
	11月	○第1回串木野市消防操法技能競技大会を実施
昭和34年	6月	○消防職員1名退職1名採用(実員15名)
昭和34年	7月～	○照島分団に運搬車、本浦・照島分団に小型動力ポンプ、消防署に水槽付ポンプ
昭和35年	10月	自動車を購入
昭和36年	4月	○消防職員1名採用(実員16名)
	5月	○消防職員1名退職1名採用(実員16名)
	9月	○串木野警察署と「災害救助に関する協定」を締結
昭和37年	4月	○中央分団に運搬車、照島分団別府班に小型動力ポンプを購入
昭和38年	11月	○本浦分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入し、運搬車を旭分団に配置替
昭和39年	2月	○本浦分団及び照島分団別府班のポンプ庫を新築
	5月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入
昭和40年	4月	○消防職員1名採用(実員17名)
	7月	○消防団定数条例改正 204名となる。 ○串木野局の電話自動化により119番の専用線を開設
	9月	○消防職員1名市役所へ転出(実員16名)
昭和41年	2月	○日本消防協会より、消防団表彰旗を授与される。
	4月	○消防職員1名採用(実員17名)
	7月	○第2代消防長 大久保重雄就任
		○消防職員1名市役所へ転出1名転入(実員17名)
	11月	○消防署に消防ポンプ自動車(トヨタ)を購入し、昭和29年3月購入の消防ポンプ自動車(日産)を羽島分団に配置替
昭和42年	1月	○羽島分団の車庫を羽島5, 237番地に新築
	7月	○消防職員1名市役所から転入(実員18名) ○市来町・東市来町との消防相互応援協定を締結
	8月	○中央分団に小型動力ポンプを購入
		○消防団定数条例改正 210名となる。
	9月	○消防職員1名採用(実員19名)
昭和43年	2月	○消防署に救急自動車(日産セドリック)を購入、任意で救急業務を開始
	3月	○消防職員1名採用(実員20名)
	5月	○川内市と消防相互応援協定を締結
	12月	○生福分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入
昭和44年	3月	○消防無線局を開設
	4月	○消防職員1名市役所から転入(実員21名)
	8月	○消防職員1名市役所へ転出(実員20名)
	11月	○照島分団に消防ポンプ自動車(トヨタ)を購入(運搬車を廃車)
	12月	○市来町・東市来町との救急業務応援協定を締結
昭和45年	1月	○消防職員1名採用(実員21名)
	4月・5月	○川内市と救急業務相互応援協定、里村・上甕村と救急業務応援協定を締結
	6月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」を締結
昭和46年	3月	○旭分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(運搬車を廃車)
	6月	○消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
	7月・8月	○樋脇町と消防相互応援協定並びに救急業務応援協定、下甕村と救急業務応援協定を締結
	9月	○消防職員1名採用(実員22名)
	10月	○第3代消防長 入江 森就任

昭和46年	10月	○消防職員1名市役所へ転出（実員21名）
	11月	○消防職員1名採用（実員22名）
		○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新）
昭和47年	2月	○市合同庁舎が昭和通133番地1に新築され、消防本部・署も移転
		○中央分団の車庫詰所を旭町1番地2に新築
	3月	○優良消防機関（署・団）として消防庁長官表彰を受ける。
	8月	○荒川分団の車庫詰所を荒川2, 347番地に新築
	12月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳12, 984番地2に新築
		○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）、羽島分団に小型動力ポンプを購入
昭和48年	2月	○鹿島村と救急業務応援協定を締結
	3月	○生命保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	7月	○日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置
		○消防職員1名採用（実員23名）
	9月	○消防職員1名採用（実員24名）
	11月	○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入
		○旭分団の車庫詰所を下名14, 105番地に新築
昭和49年	4月	○消防職員1名退職1名採用（実員24名）
	11月	○羽島地区の電話自動化により119番専用線を開設
	12月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和50年	9月	○照島分団の車庫詰所を下名7, 574番地1に新築
	10月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
	12月	○中央分団に運搬車（トヨタ）を購入（更新）
昭和51年	4月	○羽島分団の車庫に隣接して詰所を新築
	6月	○消防団本部に赤バイ（ヤマハ250cc）を購入
	7月	○本浦分団及び生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	10月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
		○市来町消防団役場分団結成
	12月	日本消防協会から可搬動力ポンプ積載車の寄贈及び松下町長の命を受け、
昭和52年	4月	17名で発足する。
	9月	○職員定数条例改正 26名となる。
		○消防職員1名退職3名採用（実員26名）
昭和53年	3月	○日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	4月	○旭、照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	5月	○職員定数条例改正 28名となる。
	7月	○消防職員2名採用（実員28名）
	10月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和54年	3月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入（更新）
	4月	○日本防火協会から広報車の寄贈を受ける。
	5月	○羽島分団土川班のポンプ庫詰所を羽島9, 675番地に新築
	6月	○消防職員2名採用（実員30名）
	8月	○消防職員1名退職（実員29名）
	9月	○照島分団及び照島分団別府班に小型動力ポンプを購入（更新）
	11月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
		○荒川分団の小型動力ポンプ（53年5月購入分）を旭分団に配置替
	12月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和55年	1月	○本浦分団の車庫詰所を西浜町1番地に新築
	6月	○消防職員1名退職（実員28名）

昭和55年	7月	○第4代消防長 軍神 計就任
	12月	○中央分団に小型動力ポンプを購入(更新)
昭和56年	2月	○冠岳分団に小型動力ポンプを購入(更新)
		○生福分団の車庫詰所を上名9, 129番地に新築
	4月	○消防職員1名退職(実員27名)
	5月	○日本自動車工業会から救急車の寄贈を受ける。
		○消防職員2名採用(実員29名)
	8月	○川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結(川内市との従前の協定を破棄)
昭和57年	3月	○第1回串木野市消防団規律訓練大会を実施
	10月	○消防職員1名退職(実員28名)
		○甌島4村及び樋脇町との救急業務応援協定を破棄
	11月	○日置地区消防組合と「消防・救急業務応援協定」を締結(市来町・東市来町との従前の協定を破棄)
昭和58年	12月	
昭和59年	2月	○生福分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
	4月	○照島分団別府班のポンプ庫詰所を下名3, 362番地2に新築
	11月	○消防本部・署の庁舎を昭和通133番地1に新築し移転
昭和60年	3月	○指宿地区消防組合と「消防無線使用時の混信に関する協定」を締結
		○照島分団に消防ポンプ自動車(日野)を購入(更新)
	4月	○第5代消防長 植屋一郎就任
		○消防職員1名市役所へ転出(実員27名)
	10月	○消防職員1名採用(実員28名)
昭和61年	10月	○串木野ライオンズクラブから指揮連絡車(日産)の寄贈を受け、消防署に配置
		○中央分団に消防ポンプ自動車(日野)を購入(更新)
	12月	○消防職員条例定数改正 31名となる。
		○羽島分団土川班に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を購入
昭和62年	3月	○市来町・樋脇町と「消防相互応援協定」を締結
	4月	○川南分団に消防ポンプ自動車を購入(更新)
	10月	○消防職員1名退職(実員27名)
	12月	○消防職員4名採用(実員31名)
昭和63年	12月	○消防署に消防ポンプ自動車(三菱)を購入(更新)
平成元年	2月	○川上分団に消防ポンプ自動車を購入(更新)
	3月	○旭分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
	4月	○消防署に救急車(トヨタ)を購入(更新)
	10月	○消防職員1名退職(実員30名)
		○消防職員1名採用(実員31名)
平成2年	1月	○消防職員条例定数改正 34名となる。
	3月	○冠岳分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
		○コーアガス鹿児島(株)から救急車(トヨタ)の寄贈を受ける。
	4月	○昭和56年に日本自動車工業会から寄贈された救急車を運搬車に改造し、照島分団別府班に配置
	10月	○消防職員3名採用(実員34名)
		○消防職員条例定数改正 38名となる。
平成3年	3月	○消防署にはしご付消防自動車(24m級)を購入
平成3年	4月	○荒川分団に消防ポンプ自動車(日産)を購入(更新)
	9月	○串木野市消防団条例の全部改正
		○消防職員2名採用(実員36名)

平成 4 年	1 月	○消防職員 1 名採用（実員 3 7 名）
	3 月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	4 月	○鹿児島県消防相互応援協定締結
	8 月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○消防職員 1 名市役所へ異動（実員 3 6 名）
	1 0 月	○日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車（いすゞ）の寄贈を受け、中央分団に配置
		○石油コンビナート等特別防災区域指定
	1 1 月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○消防庁舎の車庫、倉庫を増改築
	1 2 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 5 名）
平成 5 年	3 月	○昭和 5 0 年に購入した中央分団の運搬車を消防署に配置替
		○消防署に化学消防ポンプ自動車（三菱）を購入
		○消防職員 1 名退職（実員 3 4 名）
	4 月	○中央分団の車庫詰所を旭町 1 番地 2 に中央地区コミュニティ消防センターとして新築
	1 0 月	○第 6 代消防長 俣木一幸就任
平成 6 年	3 月	○消防職員 3 名採用（実員 3 7 名）
		○役場分団に小型動力ポンプ積載車を購入（更新）
	4 月	○荒川分団の車庫詰所を荒川 2, 4 5 0 番地に新築
	8 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 6 名）
	1 0 月	○消防職員 1 名採用（実員 3 7 名）
	1 2 月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」の一部改正
平成 7 年	2 月	○鹿児島県消防相互応援協定の一部改正
		○照島分団別府班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入（更新）
	3 月	○旭分団の車庫詰所を下名 1 4, 1 0 3 番地 1 5 に旭地区コミュニティ消防センターとして新築
		○冠岳分団の車庫詰所を冠岳 1 2, 9 8 4 番地 2 に冠岳地区コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 6 名）
		○消防職員 1 名市役所へ異動
平成 8 年	3 月	○第 7 代消防長 尾崎正躬就任
		○消防職員 2 名採用（実員 3 8 名）
	4 月	○照島分団の車庫詰所を東島平町 4 1 7 番地 1 に照島地区コミュニティ消防センターとして新築
		○団本部に指揮連絡車（トヨタ）を購入
	8 月	○消防職員 1 名市役所へ異動
	1 1 月	○消防職員 1 名採用（実員 3 8 名）
		○日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け消防署に配置
		○生福分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○昭和 5 7 年に購入した生福分団の消防ポンプ自動車を消防署に運搬車として配置換え
平成 9 年	1 月	
	3 月	○本浦分団、生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
		○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
		○羽島分団の車庫詰所を羽島 5, 2 1 8 番地に羽島コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○消防職員 1 名退職（実員 3 7 名）

平成 9 年	9 月	○第 8 代消防長 植ノ原敬一就任
	1 1 月	○消防職員 1 名採用 (実員 3 8 名)
	1 2 月	○日本地下石油備蓄(株)串木野事業所と応援協定を締結
平成 1 0 年	1 月	○中央仮設株式会社から指揮広報車の寄贈を受け消防署に配置
	2 月	○湊・川北分団に消防ポンプ自動車を購入 (更新)
	3 月	○羽島分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
	4 月	○旭分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
		○消防職員 1 名退職 (実員 3 7 名)
	8 月	○川内地区消防組合と「携帯電話等からの 1 1 9 番通報転送等に関する協定」を締結
平成 1 1 年	3 月	○日本消防協会から軽可搬ポンプ付軽積載車の寄贈を受ける。
	4 月	○照島分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
		○消防職員 1 名退職 (実員 3 6 名)
平成 1 2 年	3 月	○第 9 代消防長 橋之口博繁就任
		○消防職員 1 名採用 (実員 3 8 名)
		○串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結
	1 1 月	○本浦分団車庫詰所を西浜町 1 番地 2 に本浦地区コミュニティ消防センターとして新築 (平成 1 1 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	1 2 月	○消防署に小型動力ポンプ付積載車を購入 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
		○高規格救急自動車を購入し、平成 1 3 年 1 月 1 日運用開始 (平成 1 2 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 1 3 年	3 月	○気象情報収集装置を整備 (平成 1 2 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
		○鹿児島県より原子力防災資機材として軽トラック (運搬車) の貸与を受け、消防署に配置
	4 月	
	1 2 月	○消防職員 1 名退職 (実員 3 7 名)
		○第 1 0 代消防長 平石耕二就任
		○消防署に救急車 (トヨタ) を購入 (更新)
平成 1 4 年	9 月	○荒川、旭、冠岳分団に小型動力ポンプ (B 3 級) を購入 (平成 1 3 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	1 2 月	○旭分団芹ヶ野ポンプ庫撤去
平成 1 5 年	4 月	○川西薩地区法定合併協議会 (2 市 4 町 3 村) が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
		○消防職員 1 名市役所へ異動
	7 月	○第 1 1 代消防長 福菌照雄就任
	1 0 月	○消防職員 1 名採用 (実員 3 8 名)
	1 2 月	○串木野市は川西薩地区法定合併協議会を離脱
		○川南・川上分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
		○串木野・市来合併協議会が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
		○生福地区コミュニティ消防センターの建設用地を購入 (上名 6, 6 6 0 番 1 外 2 筆・面積 4 5 2. 3 3 m ²) (平成 1 5 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 1 6 年	4 月	○串木野市消防本部の組織等に関する規則の一部改正
		「施設装備係」を「救急救助係」に改めるとともに、消防本部の事務分掌も一部改めた。
平成 1 7 年	2 月	
	3 月	○湊・川北分団に小型動力ポンプを購入 (更新)
		○日置地区消防組合と「川内道路における消防相互応援協定」を締結
		○国土交通省鹿児島国道事務所・県警察本部交通部高速道路交通警察隊・日置地

平成17年	3月	区消防組合と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結（3月13日 串木野・市来区間開通）
		○生福分団の車庫詰所を上名6,660番地1に生福地区コミュニティ消防センターとして新築（平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○本浦分団、照島分団、生福分団に小型動力ポンプ（B3級）を購入（平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○簡易地図検索装置を整備
	4月	（平成16年度緊急地域雇用創出特別基金事業及び原子力防災資機材）
	10月	○消防職員1名退職（実員37名）
		○第12代消防長 野田 豊就任
		○市町村合併（串木野市と市来町）により新市「いちき串木野市」誕生
		○いちき串木野市消防本部・消防署・いちき分遣所発足
		○初代消防長 野田 豊就任
		○職員8名（日置地区消防組合職員3名・旧串木野市役所職員1名・旧市来町役場職員4名）が転任、実員45名となる。いちき分遣所に12名を配置する。
		○串木野市消防団と市来町消防団は、合併により1団を形成し、「いちき串木野市消防団」となる。（団長1名、副団長4名、13分団、定数299名）
平成18年	3月	○救急3号車運用開始
平成18年	4月	○中央・照島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成17年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○消防職員2名退職（実員43名）
		○第2代消防長 内屋照男就任
		○消防職員5名採用（実員48名）
平成18年	12月	○高規格救急車（日産）を購入し、12月23日運用開始（いちき分遣所配置換え）（平成18年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成19年	3月	○消防署に消防ポンプ自動車（銀河号：日野・CD-I型）を購入（更新）（平成18年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○消防職員1名退職（実員47名）
平成19年	11月	○中央分団に小型ポンプ（B-3級）を購入（更新）（平成19年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成20年	3月	○川南分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成19年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○羽島分団に小型動力ポンプ付積載車（日産）を購入（更新）（平成19年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○消防職員1名退職（実員46名）
平成20年	4月	○消防職員2名増員（消防吏員1名、その他職員1名）（実員48名）
平成21年	1月	○川上分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）（平成20年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成21年	4月	○消防本部・消防署の組織再編を行う。 ○救急救助係の救助業務を警防係に移管し救急係とする。

4 歴代消防長

(1) 旧串木野市消防本部

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	昭和29年4月	昭和41年6月	大園純夫
第2代	昭和41年7月	昭和46年9月	大久保重雄
第3代	昭和46年10月	昭和54年12月	入江森
第4代	昭和55年1月	昭和60年3月	軍神計
第5代	昭和60年3月	平成5年3月	植屋一郎
第6代	平成5年4月	平成7年3月	俣木一幸
第7代	平成7年4月	平成9年3月	尾崎正躬
第8代	平成9年4月	平成11年3月	植ノ原敬一
第9代	平成11年4月	平成13年3月	橋之口博繁
第10代	平成13年4月	平成15年3月	平石耕二
第11代	平成15年4月	平成17年3月	福藪照雄
第12代	平成17年4月	平成17年10月	野田豊

(2) いちき串木野市消防本部

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	平成18年3月	野田豊
第2代	平成18年4月	現在	内屋照男

5 歴代消防団長

(1) 旧串木野市

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防組	初代	明治36年12月	明治44年5月	中尾浅助
	第2代	明治44年6月	大正5年7月	江藤千代蔵
	第3代	大正5年7月	大正5年11月	松元幸助
	第4代	大正5年11月	大正11年6月	折田金次郎
	第5代	大正11年6月	昭和5年10月	池田良之助
	第6代	昭和5年10月	昭和14年3月	江藤千代蔵
警防団	第7代	昭和14年4月	昭和14年9月	田尻森吉 (町長兼務)
	第8代	昭和14年10月	昭和19年4月	江藤千代蔵
	第9代	昭和19年4月	昭和22年7月	花牟禮武夫
消防団	第10代	昭和22年8月	昭和26年8月	富宿與助
	第11代	昭和26年8月	昭和30年7月	福山盛吉
	第12代	昭和30年8月	昭和37年3月	富宿與助
	第13代	昭和37年4月	昭和43年3月	須崎 巽
	第14代	昭和43年4月	昭和47年3月	寺師彦好
	第15代	昭和47年4月	昭和63年3月	益満利幸
	第16代	昭和63年4月	平成16年3月	網屋長行
第17代	平成16年4月	平成17年10月	岡田正治	

(2) 旧市来町 (※ 昭和14年4月に警防団を結成、初代団長は井上新吉でその他については、不明)

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防団	初代	昭和22年8月	昭和52年4月	田崎勇藏
	第2代	昭和52年5月	昭和57年6月	白石久治
	第3代	昭和57年6月	昭和59年4月	久木菌耕平
	第4代	昭和59年5月	平成3年9月	西ノ園厚志
	第5代	平成3年10月	平成5年3月	前田二夫
	第6代	平成5年4月	平成9年3月	新村 明
	第7代	平成9年4月	平成17年10月	山元幸夫

(3) いちき串木野市

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	現在	岡田正治

Ⅱ 総 務

消防組織 1本部 1署 1分遣所 1団

消防職員 48名

(平均年齢 40.4歳)

(平成21年4月1日現在)

消防団員 275名

(平均年齢 46.7歳)

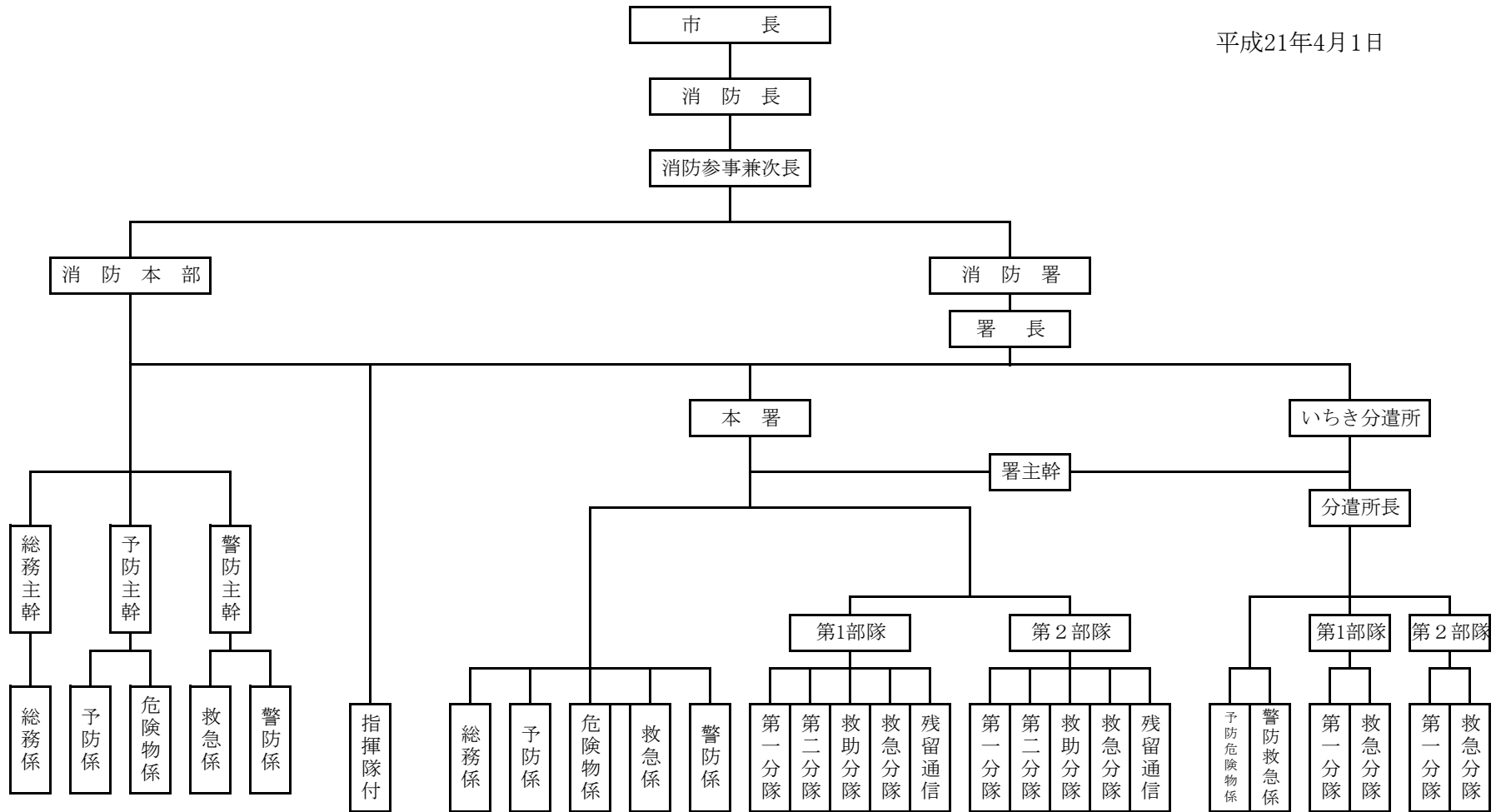
(平成21年4月1日現在)

平成21年度消防予算 479,371千円

(住民1人当り 15,255円)

いちき串木野市消防本部・消防署の組織

平成21年4月1日



2 消防本部・消防署・分遣所の事務分掌

<消防本部>

○ 総務係

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| (1) 職員の人事及び組織に関すること。 | (12) 職場及び職員の安全管理並びに衛生管理に関すること。 |
| (2) 職員の服務に関すること。 | (13) 職員の教養、研修等の総括に関すること。 |
| (3) 職員の階級、任免、分限及び懲戒に関すること。 | (14) 情報公開に関すること。 |
| (4) 公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。 | (15) 消防年報及び消防統計に関すること。 |
| (5) 予算の編成及び執行に関すること。 | (16) 消防表彰に関すること。 |
| (6) 物品の購入、保管及び処分に関すること。 | (17) 職員及び団員の福利厚生に関すること。 |
| (7) 職員及び団員の被服及び貸与品に関すること。 | (18) 会議及び儀式に関すること。 |
| (8) 公有財産に関すること。 | (19) 消防協会及び消防学校に関すること。 |
| (9) 公印の保管に関すること。 | (20) 消防職員委員会に関すること。 |
| (10) 文書の受発、編さん及び保存に関すること。 | (21) 消防手数料等の収納に関すること。 |
| (11) 条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。 | (22) 消防長会に関すること。 |
| | (23) 消防連合後援会に関すること。 |
| | (24) 消防団員互助会に関すること。 |
| | (25) 消防団事務に関すること。 |
| | (26) 他の係に属さないこと。 |

○ 予防係

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 火災予防の企画に関すること。 | (6) 防火管理者の指導及び育成に関すること。 |
| (2) 火災予防査察に関すること。 | (7) 防火管理協会及び幼少年婦人防火委員会に関すること。 |
| (3) 建築同意事務に関すること。 | (8) その他火災予防に関すること。 |
| (4) 消防用設備等に係る検査及び指導に関すること。 | |
| (5) 火災の調査、統計、報告及び証明に関すること。 | |

○ 危険物係

- | | |
|-------------------------------|---|
| (1) 危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関すること。 | (5) 石油コンビナート等特別防災区域の指導に関すること。 |
| (2) 危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。 | (6) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）の規定に基づく煙火の消費に関すること。 |
| (3) 危険物施設の予防査察に関すること。 | (7) 危険物安全協会に関すること。 |
| (4) 液化石油ガス販売事業の意見書に関すること。 | (8) その他危険物に関すること。 |

○ 警防係

- (1) 消防計画及び各種防災計画に関すること。
 - (2) 火災その他の災害等の警戒及び防御に関すること。
 - (3) 災害統計（火災、救急統計を除く。）及び報告に関すること。
 - (4) 消防応援協定に関すること。
 - (5) 職員及び団員の警防関係教育訓練に関すること。
 - (6) 消防施設、装備等の整備計画及び維持管理に関すること。
 - (7) 国庫補助金、石油交付金等に関すること。
 - (8) 気象、防災情報等の収集、伝達及び広報に関すること。
 - (9) 消防無線及び防災行政無線に関すること。
 - (10) 消防用燃料の受払いに関すること。
 - (11) 救助及び潜水業務に関すること。
 - (12) その他警防に関すること。
-

○ 救急係

- (1) 救急業務に関すること。
 - (2) 救急の統計、報告及び証明に関すること。
 - (3) 職員の救急教育訓練に関すること。
 - (4) 救急資機材の維持管理に関すること。
 - (5) 応急手当の普及啓発に関すること。
 - (6) 医師会、医療機関等との連絡調整に関すること。
 - (7) その他救急に関すること。
-

<消防署>

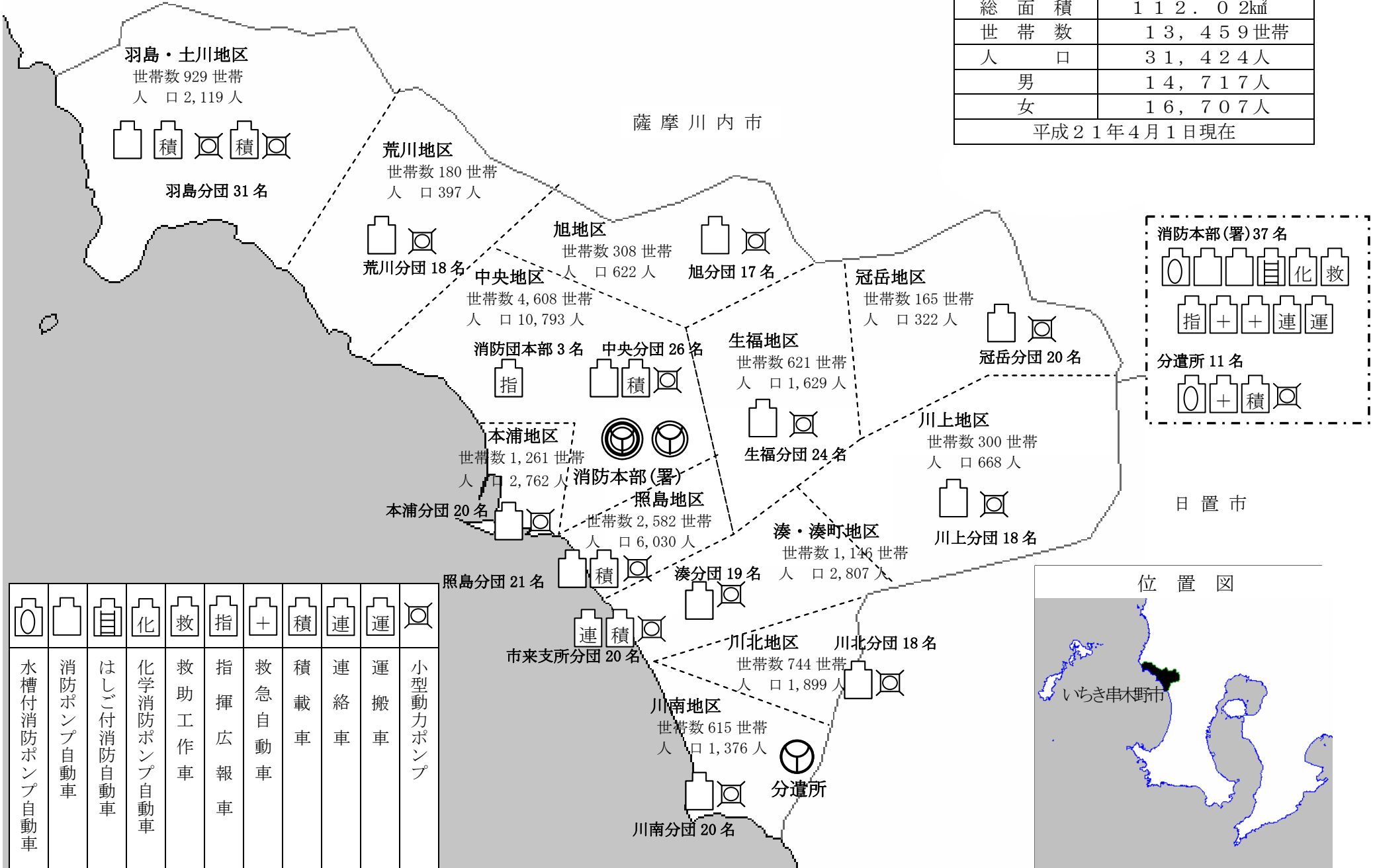
- (1) 消防通信及び受付事務に関すること。
 - (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活動に関すること。
 - (3) 火災その他の災害の警戒に関すること。
 - (4) 署内の会議に関すること。
 - (5) 署長会に関すること。
 - (6) 防火広報、予防及び警防査察の実施に関すること。
 - (7) 署員及び団員の訓練に関すること。
 - (8) 消防水利及び地理調査に関すること。
 - (9) 防火対象物の訓練指導に関すること。
 - (10) 防火協力団体等の指導育成に関すること。
 - (11) 気象、防災情報及び火災警報等に関すること。
 - (12) 応急手当の普及に関すること。
 - (13) 空地及び空家の管理指導に関すること。
 - (14) 住宅等の火災予防に関すること。
 - (15) 消防資機材の出納及び保管に関すること。
 - (16) その他消防業務の実施に関すること。
-

<分遣所>

- (1) 受付事務に関すること。
- (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活動に関すること。
- (3) 火災その他の災害の警戒に関すること。
- (4) 防火広報、予防及び警防査察の実施に関すること。
- (5) 消防水利及び地理調査に関すること。
- (6) 防火対象物の訓練指導に関すること。
- (7) 防火協力団体等の指導育成に関すること。
- (8) 応急手当の普及に関すること。
- (9) 空地及び空家の管理指導に関すること。
- (10) 住宅等の火災予防に関すること。
- (11) その他消防業務の実施に関すること。

3 いちき串木野市消防現勢分布図

総面積	112.02km ²
世帯数	13,459世帯
人口	31,424人
男	14,717人
女	16,707人
平成21年4月1日現在	



4 消防庁舎・分遣所・詰所（車庫含む。）の状況

(1) 消防本部（署）・分遣所

所管	所在地	構造	敷地面積㎡	建築面積等㎡	建築年月
消防本部 消防署	昭和通 133番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	1,603.54	庁舎建築面積 618.80 庁舎延面積 1,020.76 訓練塔(5階建)延 80.0	着工 S58.7.27 竣工 S59.3.20 増改築 H4.10.22
いちき 分遣所	大里 11番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	3,160.00	庁舎建築面積 301.62 訓練塔 25.00	完成 S57.9.28 増改築完成 H11.3.3 完成 H14.11.20

(2) 消防団

所管	所在地	構造	敷地面積㎡	建築面積等㎡	建築年月
中央分団	旭町 1番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	227.02	建築面積 69.08 延面積 118.28	H5.3
本浦分団	西浜町 1番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	165.29	建築面積 52.79 延面積 86.00	H12.3
照島分団	東島平町 417番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	167.65	建築面積 64.71 延面積 120.08	H8.3
	(別府班) 下名 3,362番地2	鉄筋コンクリート造 平屋建	100.00	建築面積 40.00 延面積 40.00	S58.12
羽島分団	羽島 5,218番地	鉄筋コンクリート造 2階建	羽島コミュニ ティセン ター敷地内	建築面積 89.25 延面積 120.74	H9.3
	(土川班) 羽島 9,675番地	鉄筋コンクリート造 平屋建		建築面積 40.80 延面積 40.80	S54.3
荒川分団	荒川 2,450番地	鉄筋コンクリート造 平屋建	小学校敷地内	建築面積 72.00 延面積 72.00	H6.3
旭分団	下名 14,103番地15	鉄骨造平屋建	旭コミュニ ティセンタ ー敷地内	建築面積 72.00 延面積 72.00	H7.2
生福分団	上名 6,660番1	鉄筋コンクリート造 2階建	452.33	建築面積 72.96 延面積 130.08	H17.3
冠岳分団	冠岳 12,984番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	231.38	建築面積 37.50 延面積 75.00	H7.3
資材倉庫	東島平町 26番地 (旧照島分団車庫)	鉄骨スレート造 平屋建	129.80	建築面積 62.65 延面積 62.65	S50.9
湊分団	湊町 3,126番地22	鉄筋コンクリート造 2階建	1,128.79 のうち一部	建築面積 81.52 延面積 136.80	S58.3
川南分団	大里 705番地11	鉄骨造H型 2階建	230.57	建築面積 53.38 延面積 106.76	S61.12
川北分団	大里 5,631番地	鉄骨造 2階建	595.31	建築面積 53.535 延面積 107.07	H4.12
川上分団	川上 1,171番地	鉄骨造H型 2階建	1,505.02 のうち一部	建築面積 48.19 延面積 96.38	S62.11
市来支所 分団	湊町 3,305番地	鉄筋コンクリート造 2階建	7600.82 のうち一部	建築面積 46.80 延面積 93.60	H5.12

5 平成20年度の主な行事

4月	8日	第1回消防幹部会議（消防本部会議室）
5月	11日	消防団員初任者研修会（消防本部会議室他）
	16日	第2回消防幹部会議（消防本部会議室）
	27日	消防連合後援会総会（市内）
	30日	第31回鹿児島県消防救助技術指導会（鹿児島県消防学校）
6月	1日～7月15日	ウミガメ保護監視パトロール（市来地域の5分団）
	8日	消防団員互助会総会（消防本部会議室）
7月	20日	第2回いちき串木野市消防操法大会（公設地方卸売市場）
8月	10日	平成20年度日置支部消防操法大会（公設地方卸売市場）
	21日～22日	防火管理者資格取得講習会（消防本部会議室）
	28日	第27回鹿児島県消防操法大会（鹿児島県消防学校）
	31日	消防団部長以上幹部研修会（市来地域公民館） 湊・湊町地区自主防災訓練（湊・市来支所分団）
9月	7日	市民救急医療講座（老人福祉センター）
10月	7日	第3回消防幹部会議（消防本部会議室）
	23日	平成20年度鹿児島県原子力防災訓練
11月	8日	第3回いちき串木野市防火管理協会自衛消防隊対抗防火大会
	9日～15日	秋季火災予防運動 9日 防火宣伝マラソン
	9日	消防合同演習（串木野地域 海上保安部麓宿舎付近）
	14日	県石油コンビナート等防災訓練（串木野基地）
	16日	火災防ぎょ訓練（荒川分団車庫付近・生福中井原公民館付近） 消防合同演習（市来地域 ライフハーバーいちき）
	21日	危険物安全協会及び防火管理協会合同研修視察
	28日	第4回消防幹部会議（消防本部会議室）
12月	29日～30日	消防団年末夜警（市内全域）
	29日	消防団年末夜警の市長等巡視
1月	4日	平成21年消防出初式（市民文化センター）
2月	5日	第5回消防幹部会議（消防本部会議室）
	27日	第3回消防技術指導会（本署・分遣所 5分隊出場）
3月	1日～7日	春季火災予防運動
	1日	消防合同演習（浦和町公民館付近）
	8日	串木野地域火災防ぎょ訓練（羽島萩元 平身川上流付近） 市来地域火災防ぎょ訓練（川上ふれあい公園付近）

6 消防予算

(1) 平成20・21年度消防予算（当初予算）

（単位：千円）

款・項・目	節	平成20年度	平成21年度	比較増減
9. 消 防 費		494,324	479,371	△ 14,953
1. 消 防 費		494,324	479,371	△ 14,953
	1. 常備消防費	390,564	387,888	△ 2,676
	給 料	180,442	179,856	△ 586
	職 員 手 当 等	127,012	129,817	2,805
	共 済 費	53,645	56,454	2,809
	報 償 費	0	0	0
	旅 費	1,321	1,061	△ 260
	需 用 費	9,002	8,731	△ 271
	役 務 費	2,951	2,481	△ 470
	委 託 料	667	692	25
	使用料及び賃借料	718	696	△ 22
	原 材 料 費	20	19	△ 1
	備 品 購 入 費	13,219	5,056	△ 8,163
	負担金、補助及び交付金	808	2,847	2,039
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公 課 費	758	177	△ 581
	2. 消防団費	83,997	80,018	△ 3,979
	報 酬	13,466	13,466	0
	共 済 費	6,425	6,425	0
	災 害 補 償 費	1,506	1,513	7
	報 償 費	5,587	5,015	△ 572
	旅 費	29,778	26,175	△ 3,603
	需 用 費	3,507	3,443	△ 64
	役 務 費	1,077	1,125	48
	委 託 料	0	0	0
	使用料及び賃借料	245	80	△ 165
	原 材 料 費	15	14	△ 1
	備 品 購 入 費	21,159	21,441	282
	負担金、補助及び交付金	827	715	△ 112
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公 課 費	404	605	201
	3. 消防施設費	8,188	1,355	△ 6,833
	賃 金	179	0	△ 179
	需 用 費	342	635	293
	役 務 費	0	0	0
	委 託 料	283	173	△ 110
	使用料及び賃借料	339	6	△ 333
	工 事 請 負 費	6,500	0	△ 6,500
	原 材 料 費	21	21	0
	備 品 購 入 費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	524	520	△ 4
				0
				0
	4. 水 防 費	105	100	△ 5
	5. 災害対策費	11,470	10,010	△ 1,460

(2) 市総予算と消防予算（当初予算）

(単位：千円)

区分 年度別	市 総 予 算	消 防 予 算	割 合 (%)	消 防 予 算 内 訳									
				常 備 消 防 費	割 合 (%)	消 防 団 費	割 合 (%)	消 防 施 設 費	割 合 (%)	水 防 費	割 合 (%)	災 害 対 策 費	割 合 (%)
17	17,834,780	726,564	4.1	560,191	77.1	126,465	17.4	18,373	2.5	273	0.04	21,262	2.9
18	14,538,000	810,785	5.6	441,528	54.5	67,114	8.3	2,749	0.3	117	0.01	299,277	36.9
19	12,838,000	501,897	3.9	389,619	77.6	92,376	18.4	5,491	1.1	108	0.02	14,303	2.8
20	12,457,000	494,324	4.0	390,564	79.0	83,997	17.0	8,188	1.7	105	0.02	11,470	2.3
21	12,470,000	479,371	3.8	387,888	80.9	80,018	16.7	1,355	0.3	100	0.02	10,010	2.1

(3) 消防予算と人口・世帯数との比較（当初予算）

年度	消 防 予 算 (円)	住民一人当たりの 消 防 費 (円)	一世帯当たりの 消 防 費 (円)	人 口 (人)	
				世 帯 数	
17	726,564,000	21,959	53,420	33,087	
				13,601	
18	810,785,000	24,817	60,036	32,670	
				13,505	
19	501,897,000	15,519	37,153	32,340	
				13,509	
20	494,324,000	15,553	36,704	31,784	
				13,468	
21	479,371,000	15,255	35,617	31,424	
				13,459	

7 人事・教養

(1) 消防職員の配置状況

(H21.4.1現在)

区分 階級	実 員	消 防 本 部								消 防 署				分 遣 所		
		消 防 長	消 防 参 事 兼 次 長	主 幹	総 務 係	予 防 係	危 険 物 係	救 急 係	警 防 係	署 長	署 主 幹	第 一 部 隊	第 二 部 隊	分 遣 所 長	第 一 部 隊	第 二 部 隊
司令長	1	1※														
司令	5		1※	2※				1		1※	1	1				
司令補	11				1	1	1		1			4	5	1		1
士長	21											7	6		4	4
副士長	2												1		1	
消防士	7											4	3			
その他	1				1											
合計	48	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	16	15	6		5

- 注 1. ※印は日勤者
 2. 署長は警防主幹を兼ねる。
 3. 署主幹は救急係長を兼ねる。
 4. 各係長は署員を兼ねる。

(2) 消防職員の年齢

(H21.4.1現在)

階級	年 齢											合 計	平 均 年 齢
	20 歳 未 満	20 歳 ～ 24 歳	25 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 34 歳	35 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 44 歳	45 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 54 歳	55 歳 ～ 59 歳	60 歳 以 上			
司令長								1				1	59.0
司令							3	2				5	54.2
司令補					3	7	1					11	46.4
士長				2	12	7						21	38.6
副士長			1	1								2	30.0
消防士		1	4	1	1							7	28.4
その他			1									1	29.0
合計		1	6	4	13	10	7	4	3			48	40.4

(3) 消防職員の勤続年数

(H21.4.1現在)

階級	勤続年数								
	5年未満	5年 ～ 9年	10年 ～ 14年	15年 ～ 19年	20年 ～ 24年	25年 ～ 29年	30年 ～ 34年	35年 以上	合計
司令長								1	1
司令						1	2	2	5
司令補				1	3	4	3		11
士長	5		4	8	4				21
副士長		1	1						2
消防士	6	1							7
その他	1								1
合計	12	2	5	9	7	5	5	3	48

(4) 消防吏員の階級別及び過去3年間の教養状況

(H21.4.1現在)

学科	階級別	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	平成18年度	平成19年度	平成20年度
		1	5	11	21	2	7			
消防 大学 校	救助科			1						
	火災調査講習会		2							
消 防 学 校	初任科	1	5	11	21	2	7	3	4	3
	救急Ⅰ課程	1	5	11	7					
	救急Ⅱ課程			9	6					
	救急標準課程				7					
	救急科				4	2			1	3
	気管挿管講習			2	5			2	1	2
	救助科		3	6	5					
	警防科			1	1				1	
	予防科(課程)	1	2	4	1					
	査察課程				1					
	予防査察課程			1	1					
	火災調査課程			2	4	1				1
	初級幹部科			2					1	
	中級幹部科			1						1
	無線科		2							
職員指導員科	1	2								
梯子車研修		1	2	1						
救急救命 九州研修所	救急救命士研修			2	7				1	
	薬剤投与追加講習			1					1	1
気管挿管病院実習			2	2			1	1	1	
海洋研究 開発機構	潜水業務管理研修		1	1	1					2
	潜水技術特別研修			1	1					
消防救急緊急自動車 運転技能者研修		1								

8 消防団

(1) 消防分団所轄区域、定員及び幹部名

(H21.4.1現在)

分団 区分	団 本 部	中 央	本 浦	照 島	羽 島	荒 川	旭	生 福	冠 岳	湊	川 南	川 北	川 上	市 来 支 所	合 計
団 長	1														1
副団長	2														2
分団長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
副分団長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
部 長		4	2	3	4	2	2	3	2	2	2	2	2	2	32
班 長		6	4	5	6	4	4	5	4	4	4	4	4	4	58
団 員		14	12	11	19	10	9	14	12	11	12	10	10	12	156
実 員	3	26	20	21	31	18	17	24	20	19	20	18	18	20	275
定 員	5	32	20	25	32	20	20	25	20	20	20	20	20	20	299
所 轄 区 域		串 木 野 地 区 (本浦分団区域を除く。)	本 浦 地 区	照 島 地 区	羽 島 ・ 土 川 地 区	荒 川 地 区	旭 地 区	生 福 地 区	冠 岳 地 区	湊 ・ 湊 町 地 区	大 里 の う ち 川 南 地 区	大 里 の う ち 川 北 地 区	川 上 地 区	市 来 地 域	
世帯数		4,608	1,261	2,582	929	180	308	621	165	1,146	615	744	300		13,459
人 口		10,793	2,762	6,030	2,119	397	622	1,629	322	2,807	1,376	1,899	668		31,424
団 長	副団長	分 団 長													
岡 田 正 治	井 原 手 迫 政 昭	柳 田 三 男	上 新 薫	新 村 義 治	久 保 一 夫	東 幸 基	竹 之 下 直 正	木 場 良 一	松 下 進	迫 勝 博	田 崎 昭 彦	池 田 郁 郎	大 迫 修 藏	中 間 久 敬	

(2) 消防団員の勤続年数

(H21. 4. 1現在)

階級	勤務年数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上	合計
団長								1		1
副団長									2	2
分団長				1	1	3	4	4	4	13
副分団長			1			3	3	4	2	13
部長			2	6	11	9	4			32
班長		3	17	18	13	7				58
団員	66	40	32	6	9	1	1	1	1	156
合計	66	43	52	31	37	23	14	9		275

(3) 消防団員の年齢

(H21. 4. 1現在)

階級	年齢	24歳以下	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
団長											1	1	66.0
副団長										2		2	64.0
分団長				1				1	1	7	3	13	59.8
副分団長				1				2	4	4	2	13	57.3
部長				2		1	9	13	5	2		32	55.9
班長			1	3	5	15	16	15	3			58	50.6
団員	7	14	31	27	18	18	17	19	4	1		156	41.0
合計	7	14	32	34	23	34	45	52	25	9		275	46.7

(4) 消防団員出場状況表

(H20年度)

分団別 出場区分		分団別															合 計
		団本部	中 央	本 浦	照 島	羽 島	荒 川	旭	生 福	冠 岳	湊	川 南	川 北	川 上	市 来 支 所		
火 災 等 災 害	火 災	回 数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
		人 員	1	0	0	0	22	0	0	0	0	9	0	0	1	0	33
	風水害等 の災害	回 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	回 数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
		人 員	1	0	0	0	22	0	0	0	0	9	0	0	1	0	33
演 習 訓 練 等	演習訓練	回 数	12	45	29	26	28	27	26	27	27	26	35	24	24	38	394
		人 員	26	414	245	237	271	171	175	236	171	181	234	210	167	244	2,982
	その他	回 数	39	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	92
		人 員	54	96	39	41	59	35	37	45	36	38	55	37	36	56	664
	小 計	回 数	51	50	33	30	32	31	30	31	31	30	39	28	28	42	486
		人 員	80	510	284	278	330	206	212	281	207	219	289	247	203	300	3,646
そ の 他	広報指導	回 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	警防調査等	回 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別警戒	回 数	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	29
		人 員	9	48	38	38	61	31	36	49	35	36	36	36	38	40	531
	捜 索	回 数	5	2	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	12
		人 員	9	10	6	0	28	0	0	20	0	0	0	0	0	0	73
	その他	回 数	23	13	15	16	13	12	9	12	12	13	14	11	13	14	190
		人 員	67	40	37	41	60	28	28	38	30	44	32	28	35	35	543
	小 計	回 数	31	17	18	18	17	14	11	16	14	15	16	13	15	16	231
		人 員	85	98	81	79	149	59	64	107	65	80	68	64	73	75	1,147
合 計	延回数	83	67	51	48	50	45	41	47	45	46	55	41	44	58	721	
	延人員	166	608	365	357	501	265	276	388	272	308	357	311	277	375	4,826	

(5) 消防団員の報酬等

(単位：円)

階 級 区 分		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
		報 酬	143,200	92,500	84,400	46,700	42,700	41,200
費 用 弁 償	技 術 報 酬	消防ポンプ車等の機関員 年額15,000 小型動力ポンプ機関員 年額10,000						
	災 害・訓 練 等 出 動 手 当	1 回 1 人 5,100						

9 いちき串木野市消防連合後援会

(H21.5.19現在)

後援会(部)名	会(部)長	役職名
中央分団後援会	野元克己	会長
本浦分団後援会	下ノ菌真孝	
照島分団後援会	上迫田守	監事
羽島地区公民館消防後援部	池野清隆	副会長
荒川地区公民館消防後援部	星原静	
旭地区公民館消防後援部	西野壹	
生福地区公民館消防後援部	松田昭和	
冠岳地区公民館消防後援部	松下兵衛	
湊分団後援会	妙円園努	
川南分団後援会	本田幸広	
川北分団後援会	松崎直孝	副会長
川上分団後援会	内田政司	監事

10 表彰(平成20年度)

- (1) 消防庁長官表彰
- 永年勤続功労章
 - (団本部) 井手迫正昭
 - (本部) 木場與一郎
- (2) 日本消防協会会長表彰
- 勤続章
 - (本浦) 大里多磨夫
 - (照島) 新村義治
 - (本部) 前屋満治
 - (本部) 山下義弘
 - (本部) 川畑光治
- (3) 鹿児島県知事表彰
- 40年勤続章
 - (団本部) 井手迫正昭
 - (団本部) 久木山健一
 - (照島) 山口武生
 - (川北) 池田郁郎
 - (本浦) 福田清宏
 - 10年勤続章
 - (支所) 芹ヶ野幸淑
 - (支所) 重信幸紀
 - (支所) 田中俊二
 - (荒川) 古菌正市
 - (冠岳) 大平良徳
 - (川北) 塩屋正光
 - (支所) 西久保敏彦
 - (中央) 濱平直亮
 - (荒川) 羽根田勤
 - (荒川) 戸田伸明
 - (生福) 川崎将弘
 - (湊) 内野勝一
 - (川南) 原口圭一
 - (川上) 松比良英二
- (4) 全国消防長会会長表彰
- 消防特別功労表彰
 - (本部) 内屋照男
 - 30年勤続功労者章
 - (本部) 前屋満治
 - (本部) 山下義弘
- (5) 鹿児島県消防協会総裁表彰
- 功績章
 - (中央) 西田憲一
 - (本浦) 眞田和長
 - (照島) 上山義夫
 - (生福) 吉村裕史
 - (生福) 久徳誠
 - (湊) 迫直樹
 - (川上) 鹿丸滋樹
 - (川上) 前田行弘
 - 精績章
 - (支所) 中間久敬
 - (旭) 金井政行
 - (冠岳) 川畑千秋
 - (中央) 久保哲己
 - (中央) 木場三紀夫
 - (中央) 川崎広貴
 - (本浦) 上新秀二
 - (本浦) 西村博孝
 - (照島) 満留久人
 - (荒川) 中野伸一
 - (旭) 芹ヶ野募
 - (冠岳) 久保親雄
 - (本浦) 岡田義也
 - (羽島) 田畑雄一
 - (川上) 道岡圭三
- (6) 鹿児島県消防協会日置支部長表彰
- 15年勤続章
 - (荒川) 蓑手恒久
 - (旭) 南鶴清人
 - (冠岳) 川畑信隆
 - (中央) 赤岩喜久生
- (7) いちき串木野市長表彰
- 10年勤続章
 - (荒川) 古菌正市
 - (川北) 塩屋正光
 - (支所) 西久保敏彦
 - (中央) 濱平直亮
 - (中央) 川元悟嗣
 - (中央) 坂口賢介
 - (本浦) 坂口謙介
 - (羽島) 川口和浩
 - (荒川) 羽根田勤
 - (旭) 松元徹
 - (生福) 川崎将弘
 - (川南) 原口圭一
 - (川上) 松比良英二
- (8) いちき串木野市長感謝状
- 20年以上勤続団員の奥様
 - (中央) 西田美代子
 - (照島) 上山百合子
 - (生福) 吉村幸子
 - (生福) 久徳智子
 - (湊) 迫むつ子
 - (川上) 鹿丸真弓
 - (川上) 前田寿美
 - 須賀婦人消防協力隊(30年勤続)
 - 川崎イ子
 - 吉松綾子
 - 消防団協力事業所(表示証の交付)
 - 川崎板金工業株式会社

Ⅲ 予防・危険物

防火対象物数	1,128
※延べ面積150㎡以上の法第17条対象物		
危険物施設数	144
※法第11条対象施設		

(平成21年4月1日現在)

1 防火対象物の状況

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命危険が大きいため、一定規模以上の建築物については、防火管理者の選任及び消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備等の設置と維持管理が消防法で義務付けられている。(H21.4.1現在)

対象物別		区分	対象物数 (150㎡以上)	防火管理者が必要な対象物数 (150㎡未満を含む)	定期点検が必要な対象物数
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	1	1	1
	ロ	公会堂、集会場	22	49	10
2 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類			
	ロ	遊技場、ダンスホール	4	4	4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	
3 項	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	17	21	2
4 項		百貨店、マーケット、展示場の類	51	27	7
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	7	5	2
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	195	17	
6 項	イ	病院、診療所、助産所	32	18	
	ロ	老人福祉施設等（入所施設）	10	10	
	ハ	保育所、老人デイサービスセンター等	17	9	
	ニ	幼稚園、特別支援学校	18	5	
7 項		小・中・高・大学各種学校の類	80	16	
8 項		図書館、博物館、美術館の類	2	2	
9 項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類			
	ロ	上記以外の公衆浴場	3	1	
10 項		車両の停車場又は船舶、航空機の発着場	1		
11 項		神社、寺院、教会の類	5	4	
12 項	イ	工場、作業場	175	12	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
13 項	イ	自動車車庫、駐車場	35		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14 項		倉庫	122		
15 項		前各項に該当しない事業場	153	27	
16 項	イ	特定防火対象物が存する複合用途対象物	116	40	8
	ロ	上記以外の複合用途対象物	58		
16の2 項		地下街			
16の3 項		準地下街			
17 項		重要文化財の類			
18 項		延長50m以上のアーケード	3		
合 計			1,128	269	34

2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）

（H21. 4. 1現在）

令別表第一区分		4 階	5 階	6 階	10階	合 計
5 項	イ 旅館・ホテル等	1 湊町 1				1
	ロ 共同住宅・寄宿舎等	41 中央 11 本浦 5 照島 10 羽島 1 川北 5 湊町 5 湊 4	15 中央 1 照島 13 湊町 1			56
6 項	イ 病院・診療所等	5 中央 1 照島 3 湊町 1				5
	ロ 各種福祉施設等	1 川南 1	1 中央 1			2
7 項	小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	3 照島 3	2 照島 2			5
12 項	イ 工場又は作業場	2 中央 1 荒川 1				2
14 項	倉庫	1 本浦 1				1
15 項	前各項に該当しない事業場（事務所等）	4 中央 1 本浦 2 羽島 1				4
16 項	イ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含むもの）	9 中央 9	1 中央 1	1 中央 1	1 中央 1	12
	ロ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含まないもの）	4 中央 4				4
合 計		71	19	1	1	92
地区別	中 央	27	3	1	1	32
	本 浦	8				8
	照 島	16	15			31
	羽 島	2				2
	荒 川	1				1
	川 南	1				1
	川 北	5				5
	湊	4				4
湊 町	7	1			8	
専 用 住 宅		1				1

3 建築同意事務等処理状況

(1) 建築同意状況

(H20年度)

対象物別 工事種別	一 項 口	四 項 口	五 項 口	六 項 口	九 項 口	十一 項 口	十二 項 イ	十三 項 イ	十四 項 口	十五 項 口	十六 項 イ	十六 項 口	専 住 そ の 他	合 計
新 築	1	2	1		1	1	3	3	3	6	2	1	8	32
増 築	1	1											1	3
そ の 他		1		1			1	1	2					5
合 計	2	4	1	1	1	1	4	3	5	6	2	1	9	40

(2) 専用住宅建築確認通知状況

(H20年度)

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
件 数	3	46	6	0	8	28	4	15	5	17	4	3	139

4 消防用設備等設置検査実施状況

(H20年度)

対象物別 設 備 別	四 項 口	五 項 イ	五 項 口	六 項 イ	六 項 口	七 項 口	十二 項 イ	十四 項 口	十六 項 イ	合 計
消 火 器	3		1	1	1	1	5	1	3	16
屋 内 消 火 栓 設 備						3				3
スプリンクラー設備					1					1
自動火災報知設備	2			1	1	3	4	1	6	18
消防機関へ通報する火災報知設備		1								1
非 常 警 報 設 備	1									1
避 難 器 具			1							1
誘 導 灯	3			1	1	1	2		4	12
誘 導 標 識	1					1	3	1	1	7
パッケージ型消火設備							1			1
合 計	10	1	2	3	4	9	15	3	14	61

5 消防法関係届出状況

(H20年度)

区分 対象物別		防火管理者 選任届	防火管理者 解任届	消 防 計 画 作成(変更)届	工事整備対象 設備等着工届	消防用設備等 (特殊消防用設備等) 設 置 届	消防用設備等 点検結果報告
1 項	イ	1		1			1
	ロ	7	5	7			25
2 項	イ						
	ロ	2	2	2			5
	ハ						
	ニ						1
3 項	イ						
	ロ	4	1	4		9	6
4 項		5	2	4	6		24
5 項	イ	1		1			7
	ロ	3	2	4	1	2	5
6 項	イ				2	4	26
	ロ	1		5	3	4	15
	ハ					1	9
7 項		10	10	10	4	9	1
8 項		1		2			1
9 項	イ						
	ロ						1
10 項							1
11 項		1	1	1			
12 項	イ				5	15	22
	ロ						
13 項	イ						
	ロ						
14 項					1	3	5
15 項		3	2	4	2		15
16 項	イ	5	2	10	5	13	24
	ロ	1	1	2			
16の2 項							
16の3 項							
17 項							
18 項							
19 項							
20 項							
合 計		45	28	57	29	60	194

6 火災予防条例関係届出状況

(H20年度)

種 別 \ 月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
炉													0
ボ イ ラ ー 設 備													0
変 電 設 備	1					1	1				1	1	5
発 電 設 備													0
蓄 電 池 設 備					1		1						2
温 風 暖 房 機													0
乾 燥 設 備						1							1
水素ガスを充てんする気球	3			13	2		4	1	1			1	25
消 防 用 設 備 等 緩 和 願													0
防 火 対 象 物 使 用 開 始	2	4	1	1		2	1	2	3	1	2	1	20
火災とまぎらわしい煙又は 火炎を発するおそれのある行為	1				1		5	5	7	12	3	4	38
煙 火 打 ち 上 げ	3	1		1	4	10	8				3		30
禁 止 行 為 の 解 除 承 認								1	1	1			3
給 湯 湯 沸 設 備	1												1
道 路 工 事	6	2	6	5	8	4	5	8	3	6	5	1	59
合 計	17	7	7	20	16	18	25	17	15	20	14	8	184

7 防火啓発状況

(H20年度)

方 法	対 象	回 数	備 考
広 報 車	市 内 全 域	6	春・秋火災予防運動期間中 又は火災気象通報発表時 等の防火上警戒を要する 時に実施
防 災 行 政 無 線	市 内 全 域	30	
広報くしきの(おしらせ版)	市 内 全 家 庭	12	
防 火 ポ ス タ ー 配 布	市 内 各 事 業 所 等	15	
避 難 訓 練 等 指 導	各公民館・各事業所等	143	各公民館、各事業所等から の依頼で実施
防 火 ・ 防 災 座 談 会	各公民館・各事業所等	17	各種会合時、又は公民館等 からの依頼で実施

8 危険物施設の状況

(H21.4.1現在)

施設区分 倍数別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5倍以下	1	4	3		13		14		3			12	50
5倍を越え 10倍以下		2	4	2	7		2	2	7			9	35
10倍を越え 50倍以下			11		4				8			3	26
50倍を越え 100倍以下			1						9				10
100倍を越え 150倍以下			3		1				3				7
150倍を越え 200倍以下									5				5
200倍を越え 1000倍以下			2						1		1		4
1000倍を越えるもの			6								1		7
合 計	1	6	30	2	25		16	2	36		2	24	144

9 危険物関係許可・検査処理状況

(H20年度)

種 別	施設区分	製 造 所	貯 蔵 所					取 扱 所				計	
			屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	販 売		移 送
設 置 許 可												1	1
変 更 許 可			1						1		1	1	4
完 成 検 査			1						1		1	1	4
水 圧 ・ 水 張 検 査													
仮使用（貯蔵取扱）承認								2					2
計			2					2	2		2	3	11

10 危険物施設の立入検査状況

(H20年度)

施 設 別	実 施 施 設 数	立 入 検 査 延 回 数
製 造 所	1	1
屋 内 貯 蔵 所	6	6
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	29	29
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	26	26
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	16	16
屋 外 貯 蔵 所	2	2
給 油 取 扱 所	36	36
販 売 取 扱 所		
移 送 取 扱 所	1	1
一 般 取 扱 所	24	24
計	143	143
少量危険物貯蔵取扱所	45	45

11 液化石油ガス等の保安指導状況

(1) 届出の義務

消防法第9条の3では、火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の物質（毒物、劇物等）を政令で指定し、一定以上の貯蔵又は取扱いをする場合、消防長等に届け出ることを義務づけている。

(2) 消防機関の対応

この届出に対し、消防機関は先ず、火災予防措置として査察指導を行い、火災発生の未然防止を図り、次に万一の火災発生時において、これらの物質から発生する特異かつ重大な危険が付近住民に波及することを防止し、かつ消火活動にあたる消防職員に対する危害を防止するための対策に役立てることを狙いとする。

(3) 液化石油ガス施設等の現況

(H21.4.1現在)

物 質	数 量	貯蔵・取扱施設数	備 考
液 化 石 油 ガ ス	3 0 0 kg 以上	2 2 3	
圧縮アセチレンガス	4 0 kg 以上	2	
シアン化ナトリウム	3 0 kg 以上	1	毒 物
硫 酸	2 0 0 kg 以上	2	劇 物

12 串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況

(1) 概 要

位 置：いちき串木野市西薩町1番地及び北部丘陵地（荒川・下名地区）

備 蓄 方 式：常圧貯蔵横穴水封固定水床式

面 積：貯油施設地区26ha（投影）地上施設地区5ha

貯蔵許可数量：1,740,874.4KL（約175万KL）

類 別・品 名：第4類 第1石油類（原油）

地 下 貯 油 槽（岩盤タンクに係る屋外タンク貯蔵所）

形 状：卵型（高さ 22m × 幅 18m × 長さ 55.5m）

ユ ニ ッ ト 数：3 TK-101 2基

TK-102 4基

TK-103 4基

水封トンネル：3本

地上荷役施設：操油設備・用役設備・電気計装設備・公害防止設備・安全防災設備・管理施設等

海上荷役設備：10万DWT級1点係留浮標式係留設備1基・海底原油配管2,300m

危険物の移送量：受け入れ時 120,000KL/日

払い出し時 96,000KL/日

他の危険物施設：屋外タンク貯蔵所 7 地下タンク貯蔵所 1

屋内貯蔵所 1 一般取扱所 6 移送取扱所 2

石油コンビナート等特別防災区域指定：平成4年8月28日

串 木 野 基 地 起 工：昭和62年3月31日

第一期オイルイン開始：平成5年1月9日

第一期オイルイン完了：平成5年1月21日 原油量 約33万3千KL

第二期オイルイン開始：平成6年6月7日

第二期オイルイン完了：平成6年11月22日 原油量 約135万6千KL

備蓄原油総量 約168万9千KL

(2) 現 況

ア OHSAS-18001の認証取得

当基地は、自分達の安全性を高めることで、基地の安全を更に向上させ、基地内で重大な災害、衛生トラブルを発生させないため、危険性に対する感受性を高めるツールとして平成20年7月1日より、OHSAS（労働安全衛生マネジメントシリーズ）に取り組み、平成21年1月27日にOHSAS-18001の認証を取得した。

その他、平成12年9月15日にはISO-14001の認証を取得した。

イ 緊急放出訓練

この訓練は、緊急放出という国家の安全保障に係る事態に、安全、迅速、かつ円滑に対応できる総合的な体制を維持・整備するために、実際にタンカーを使用して原油を受払いし、荷役設備の機能・安全点検を行ないつつ緊急時の対応手順の把握及び改善、人的能力の向上を図ることを目的に実施している。

平成5年のオイルイン後、6回の訓練を実施しており、平成20年は模擬訓練を行った。



【緊急放出訓練中のタンカー】

ウ 防災訓練

陸域の第16回自主防災訓練は、平成20年7月22日に実施した。この訓練は、消防防災計画に則り当基地において万一火災等が発災した場合、被害を最小限に抑えるために自衛防災組織の編成、並びに各班に与えられた任務を有効に機能できるよう訓練するものであり、訓練は夜間・休日時、火災発生の緊急事態が発生したとの想定で行い、初期防災体制と緊急呼出し後の自衛防災組織による対応について、再検証と強化を図ることを目的に実施した。

海域の自主防災訓練は、平成20年11月14日に実施した。この訓練は、当基地又はタンカーから万一原油が流出した場合、被害を最小限に抑えるために自衛防災組織の編成、関係機関との迅速、かつ円滑な連携を強化することを目的に訓練するものであり、基地の海底配管プログラム部からの漏油を想定し、流出油の防除（オイルフェンスの展張、油処理剤及び油吸着マット散布）等、海上災害発生時における諸作業について、串木野漁業協同組合の支援を得て、海上と陸上から回収する訓練を行った。

エ 鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練の実施

平成20年度鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練を平成20年11月14日に実施した。

この訓練は、毎年1回、鹿児島県石油コンビナート等防災計画に基づき特別防災区域串木野地区における災害発生を想定し、防災関係機関及び串木野国家石油備蓄基地が一体となって総合的な防災訓練を実施するもので、災害応急活動の習熟並びに迅速、かつ円滑な関係機関との連携協調性を強化し、防災体制の充実、強化と防災意識の高揚を図ることを目的としている。

訓練は、薩摩地方を震源とする震度5強の地震が発生し、#122スロップタンク配管フランジより漏れた油に着火し火災が発生、また竖坑上部室内でガスが発生し、作業員がガス中毒及び足を骨折したという想定で消防など11機関・団体から149名が参加し実施した。

参加者は、関係機関への情報伝達、酸素呼吸器を装着しての負傷者救出作業及び応急処置、救急車での救急搬送、流出した油を食い止める土のう積み、自衛防災隊による初期消火活動などを行い、最後は消火延焼防止訓練において#122スロップタンクへ向け、公設消防（市消防本部、市消防団）及び自衛防災隊による一斉放水を行い、訓練を終了した。



【自衛救助隊による負傷者救出作業】

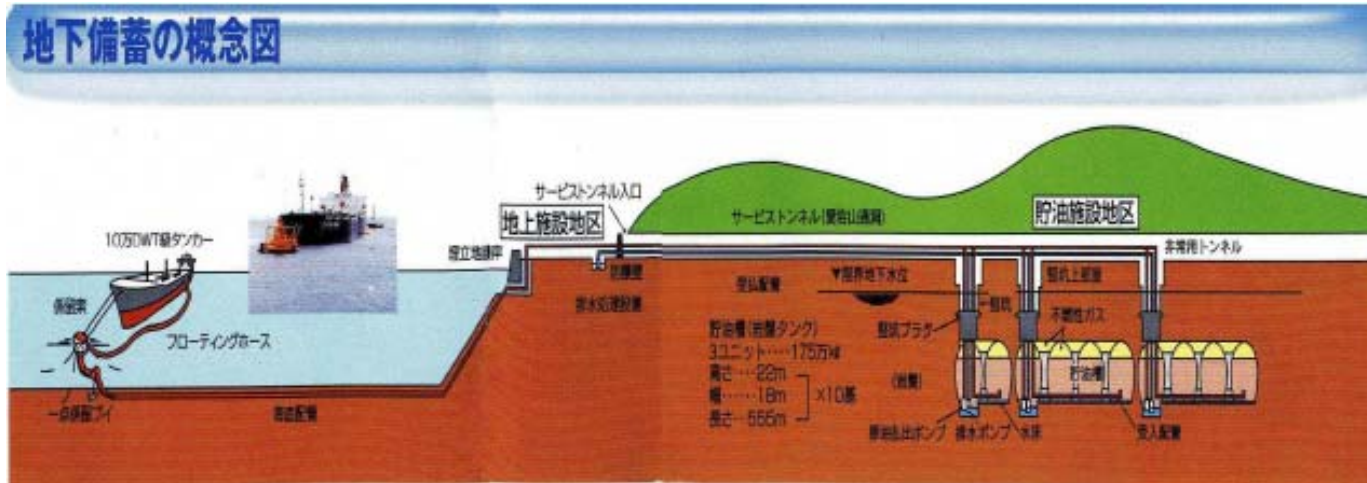


【公設消防及び自衛防災隊による一斉放水】



【公設消防及び自衛防災隊による点検報告】

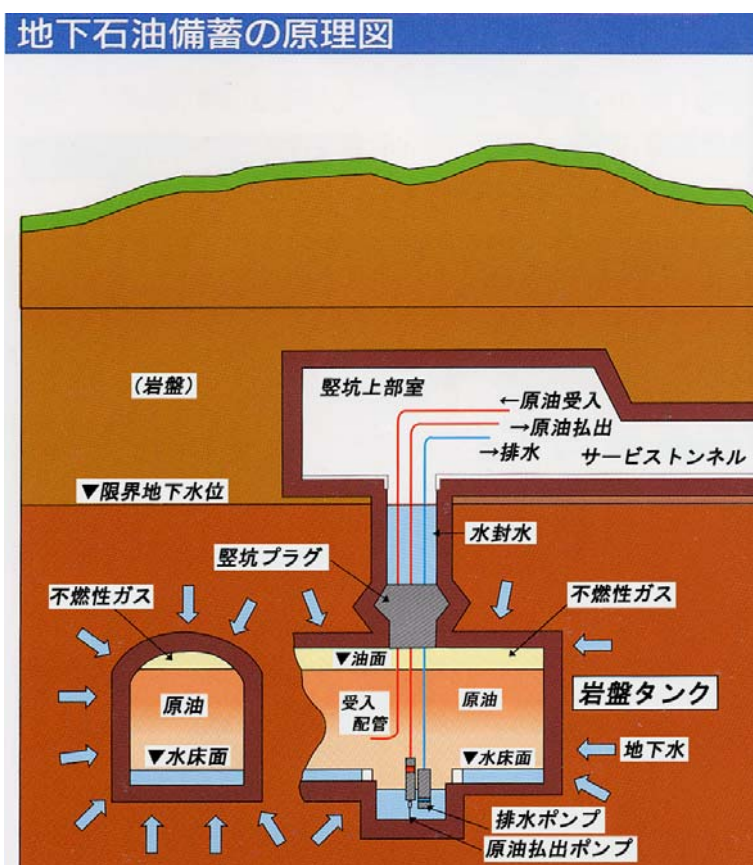
【地下岩盤タンクのしくみと水封式地下備蓄の原理】



水封式地下石油備蓄とは、地下水面下の岩盤内に空洞を掘ってそこに原油を貯蔵する方式です。自然の地下水に加え、一部水封トンネルから水を供給して空洞の周りの水圧を貯蔵された原油の圧力より高くすることによって、漏油、漏気を防止するシステムです。

岩盤タンクの水床の上に原油を貯めます。岩盤タンクにしみ出た地下水は、底水排水槽から排水ポンプにより排出されます。

地下石油備蓄の原理図



13 消防協力団体の結成状況（H21.4.1現在）

(1) いちき串木野市幼少年婦人防火委員会

◎ 結成年月日 昭和55年5月1日

◎ 目的

当委員会は、防火・防災に対する地域住民の理解と協力を得るため、その推進の中核となるクラブ等の結成、促進並びに育成強化を図ることを目的とする。

(委員名簿)

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	内 屋 照 男	いちき串木野市消防長
委員（監事）	岡 田 正 治	いちき串木野市消防団長
委 員	中 村 孝 子	須賀婦人消防協力隊隊長
〃	塩 屋 か よ 子	照島地区婦人防火クラブ会長
〃	塩 屋 ス ミ 子	土川地区婦人防火クラブ会長
〃	牧 田 京 子	羽島保育園・幼児園幼年消防クラブ会長
〃	神 村 勲	神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	井 上 恒 夫	願船寺保育園幼年消防クラブ会長
〃	武 田 泰 丸	市来幼稚園幼年消防クラブ会長
事 務 局	原 菌 照 明	いちき串木野市消防本部 予防主幹

(2) 幼年消防クラブ

◎ 目的

幼年期に消防の研修を行い、火に対する正しい認識を身につけさせ、園及び各家庭の火災の予防を図るとともに、将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
羽島保育園・幼児園幼年消防クラブ	昭和60年5月20日	130名
会 長 牧田京子	副会長 東瀬戸さやか	
市来幼稚園幼年消防クラブ	昭和62年5月23日	53名
会 長 武田泰丸	副会長 村岡由一	
神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ	平成2年7月16日	126名
会 長 神村 勲	副会長 橋口富美子	
願船寺保育園幼年消防クラブ	平成6年2月19日	82名
会 長 井上恒夫	副会長 井上弘顕	

(3) 婦人防火クラブ

◎ 目的

家庭における火災の防止及び地域ぐるみの自主防災体制の確立が図られるよう初期消火等の訓練及び防火研修などを実施し、防火安全体制の確立を図ることを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
須賀婦人消防協力隊	昭和30年11月29日	24名
隊 長 中村孝子	副隊長 通山美津江	
照島地区婦人防火クラブ	昭和52年7月23日	1,186名
会 長 塩屋かよ子	副会長 萩内綾子	
土川地区婦人防火クラブ	昭和58年9月10日	30名
会 長 塩屋スミ子	副会長 安藤時子	

(4) 防火管理協会

◎ 目的及び事業

災害予防対策の研究及び消防思想の普及発達に寄与することを目的とし、併せて会員相互の連絡親睦を厚くし、次の事業を行うものとする。

- ア 消防思想の普及高揚及び災害発生時における会員相互の応援業務
- イ 防火消防諸施設の視察研究
- ウ 自衛消防の強化促進
- エ 各種災害の予防対策の研究
- オ 消火器の維持管理の指導及び検査
- カ 優良事業所及び会員の表彰に関すること。
- キ 会員の弔慰見舞に関すること。
- ク その他本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市防火管理協会	平成 18 年 5 月 24 日	1 2 4
(H21.5 現在) 会 長 播磨 誠 副会長 溜池一孝・吉尾逸平		

(5) 危険物安全協会

◎ 目的及び事業

危険物保安対策の研究及び消防思想の普及宣伝並びに防火施設の拡充強化に寄与し、会員相互の融和親睦を図ることを目的として、次の事業を行うものとする。

- ア 消防関係、諸法規の周知徹底に関すること。
- イ 消防思想の普及宣伝に関すること。
- ウ 危険物及び高圧ガスに対する防火及び消防諸施設の視察並びに研究に関すること。
- エ 危険物取扱者の研修に関すること。
- オ 優良事業所及び優良従業員の表彰に関すること。
- カ 会員の弔慰に関すること。
- キ その他、本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市危険物安全協会	平成 18 年 5 月 26 日	9 3
(H21.5 現在) 会 長 上夷慶克 副会長 寺田洋孝・藤田 誠・田崎 梓		

IV 火災・救急・救助

火災件数	15件
損害額	1,838千円
死者	0人
負傷者	0人
救急件数	1,205件
搬送人員	1,149人
救助件数	12件
救助人員	12人

1 平成20年中の火災発生状況

火災番号	月日	発生場所	種別	原因	初期消火の有無	焼損棟数、り災世帯及び人員								建物焼損面積		林野その他	損害額	死者	負傷者				
						全焼		半焼		部分焼		ぼや		床面積㎡	表面積㎡	焼損面積							
						世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員										
1	1.8 13:20	下名 (酔之尾)	その他	たばこ	無														72				
2	2.14 8:35	湊町 (平向)	建物	たばこ	無	1								38						897			
3	2.17 不明・調査中	川上 (中組)	その他	その他 (自然発火)	有															2004			
4	2.19 18:30	下名 (酔之尾)	車両	その他 (ドラムブレーキの摩擦熱)	有															120			
5	2.27 17:00	川上 (牛之江)	建物	不明調査中	有				1					11						278			
6	2.29 9:00	上名 (山之口)	その他	たばこ	有															144			
7	3.16 10:05	上名 (山之口)	その他	たき火	有															192			
8	3.17 16:50	下名 (野元)	建物	風呂かまど	有				1					3						23			
9	3.18 10:00	羽島 (白浜)	林野	たき火	無															7a			
10	3.26 19:30	下名 (別府)	車両	電気機器	無															495			
11	5.21 14:00	下名 (別府)	その他	たき火	有															1241			
12	7.1 5:40	汐見町	車両	配線器具	有															25			
13	8.3 14:05	湊町 (瀧小路)	その他	たき火	有															35			
14	8.3 16:20	川上 (内門)	その他	たき火	有															90			
15	10.22 7:30	羽島 (白浜)	その他	たき火	有															8			
合計		建物: 3件 林野: 1件 車両: 3件		船舶: 1件 その他: 8件 合計: 15件		1棟 住家1 非住家	棟 住家 非住家	2棟 住家 非住家2	棟 住家 非住家			52㎡	㎡	林野 7a その他 3786㎡					千円	1838	名	名	

※ ()は、爆発による件数等の再掲を示す。

2 火災統計

(1) 平成20年中の火災状況(いちき串木野市・鹿児島県・全国)

区 分	いちき串木野市	鹿児島県(概数)	全 国(概数)
火 災 件 数	15	922	52,394
建 物	3	481	30,050
林 野	1	53	1,889
車 両	3	76	5,358
船 舶		3	101
航 空 機			3
そ の 他	8	309	14,993
焼 損 棟 数	3	739	41,078
建 物 焼 損 床 面 積 (m ²)	52	26,647.7	1,316,890
建 物 焼 損 表 面 積 (m ²)		2,078.9	147,172
林 野 焼 損 面 積 (a)	7	1,467.5	84,325
り 災 世 帯 数	1	463	26,808
り 災 人 員	2	997	66,521
死 者		36	1,967
負 傷 者		84	7,979
損 害 額 (千 円)	1,838	1,463,820	108,681,199
建 物	1,198	1,402,161	
林 野		4,143	
車 両	640	28,661	
船 舶		10,720	
航 空 機			
そ の 他		16,204	
爆 発		1,931	

(2) 過去5年間の年別火災概要

年	火災件数					焼損棟数					焼損面積			死傷者		り災世帯数			り 災 人員	損害額 (千円)		
	建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物床面積 ² m	建物表面積 ² m	林野	死者	負傷者	全損	半損	小損			計	
平成16年	9	1	1		8	19	1	3	2	2	8	181	8	27	1	1		3	1	4	13	26,209
平成17年	7	2	1		8	18	1	1		5	7	307		25	1	1	1		1	2	5	11,101
	1				5	6				1	1								1	1	7	579
平成18年	8	4	2		9	23		1	1	6	8	843	444		1				3	3	7	60,529
平成19年	6	4	1		13	24	3	1	1	7	12	328		5	1	3	2		5	7	20	18,921
平成20年	3	1	3		8	15	1		2		3	52		7		1			1	2		1,838
合計	34	12	8	0	51	105	6	6	6	21	39	1,711	452	64	4	5	4	3	11	18	54	119,177

平成17年の下段は、市来地域分

(3) 過去5年間の原因別火災発生件数

年	たばこ	こんろ	風呂かまど	炉	焼却炉	ストーブ	電気機器	電気装置	電灯・電話等配線	配線器具	交通機関内配線	火あそび	たき火	溶接機・切断機	灯火	火入れ	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中	計
平成16年	1	2					1		1		1		5	1			3		2	2	19
平成17年	2	1		1				2					10				1	2	2	3	24
平成18年		1						1	2				10	1				1	5	2	23
平成19年	2	2							1				13			1	1		1	3	24
平成20年	3		1				1			1			6						2	1	15
合計	8	6	1	1			2	3	4	1	1		44	2		1	5	3	12	11	105

(4) 過去5年間の月別火災発生件数

年 月	年					計
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	
1	2	2	4	1	1	10
2	2		3	2	5	12
3	2	1	1	2	4	10
4		1	1	1		3
5	1	1		3	1	6
6	1	3	1	3		8
7	5	2	5	1	1	14
8	1	1		3	2	7
9	1	3	2	4		10
10	1	5	4	1	1	12
11	1	3	1			5
12	2	2	1	3		8
計	19	24	23	24	15	105

(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数

年 月	年					計
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	
日	3	5	2	7	4	21
月	3	7	6	3	1	20
火	10	2	3	1	4	20
水	2	2	1	4	4	13
木		1	4	4	1	10
金	1	3	3	3	1	11
土		4	4	1		9
不明				1		1
計	19	24	23	24	15	105

(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数

年 時刻	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	計
0 ~ 1			2			2
1 ~ 2		1				1
2 ~ 3						
3 ~ 4		2	1			3
4 ~ 5			1			1
5 ~ 6		1	2		1	4
6 ~ 7	1					1
7 ~ 8		1			1	2
8 ~ 9		2			1	3
9 ~ 10	1			4	1	6
10 ~ 11	2	1	1	3	2	9
11 ~ 12	2	4	3	1		10
12 ~ 13	1	3	2	1		7
13 ~ 14	2	1	1	2	1	7
14 ~ 15	1	2	4	4	2	13
15 ~ 16	4	1		3		8
16 ~ 17	1	2	2	1	2	8
17 ~ 18	1	1		2	1	5
18 ~ 19				1	1	2
19 ~ 20	1		4	1	1	7
20 ~ 21		1				1
21 ~ 22		1				1
22 ~ 23						
23 ~ 24	2					2
不明				1	1	2
計	19	24	23	24	15	105

(7) 火災発生時の気象状況

(H20年中)

気象状況		月												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
天 気	快晴													0
	晴	1	5	3		1		1	2		1			14
	曇			1										1
	雨													0
	雪													0
	不明													0
風 速 m/s	無風状態													0
	1～2													0
	2～3		1					1						2
	3～4	1	2	2		1								6
	4～5		1	2							1			4
	5～6								2					2
	6～7													0
	7～8		1											1
	8～9													0
	9～10													0
	不明													0
風 向	北		1											1
	北北東													0
	北東													0
	東北東			1				1			1			3
	東													0
	東南東													0
	南東													0
	南南東													0
	南													0
	南南西													0
	南西													0
	西南西		1	1		1			1					4
	西			1										1
	西北西								1					1
北西	1	3											4	
北北西			1										1	
不明													0	
湿 度 %	10～20													0
	20～30													0
	30～40			1										1
	40～50		2	1										3
	50～60	1	3			1								5
	60～70			2					1					3
	70～80								1		1			2
	80～90													0
	90～100								1					1
	不明													0

3 いちき串木野市における大火記録

出火年月日	用途	出火場所	焼損棟数 (棟)	焼損面積 (㎡) 林野：(a)	損害額 (千円)	出火原因	死傷者数 (人)
昭 29. 7. 12	学校	串木野高校	1	587	6,362	不明	
30. 2. 12	住宅	島平同時2箇所	21	820	5,322	不明	負傷 1
33. 6. 21	映画館	銀海映画劇場	8	872	8,798	フィルム引火	
34. 10. 21	工場	満菌製材所	10	564	6,116	不明	
39. 12. 4	〃	串木野造船所	7	1,752	25,401	不明	
41. 6. 16	住宅	羽島浜	135	7,321	143,293	電気アイロン	
41. 12. 4	店舗	ニュー東京テレビセンター	13	1,116	33,065	たばこ	
42. 3. 25	官公署	串木野市役所別館	9	396	6,578	不明	負傷 3
44. 2. 22	住宅	萩元	6	375	8,160	不明	死者 1
45. 2. 4	林野	西岳		505	1,502	たばこ	負傷 1
48. 11. 25	〃	萬福		300	3,500	不明	
49. 3. 2	〃	深田		450	1,619	マッチ	
61. 12. 4	住宅	土川	6	406	12,122	風呂・かまど	負傷 1
平 1. 3. 21	工場	岡下造船鉄工	2	699	51,181	不明	
18. 1. 28	〃	薩洲濱田屋伝兵衛	1	830	58,576	照明器具	

(いちき串木野市における大火基準：平成18年版より適用)

- 1 焼損棟数：全焼5棟以上（非住家等を含む。）
- 2 焼損面積：1棟500㎡以上・・・令別表に掲げる防火対象物の場合
- 3 焼損面積：300a以上・・・林野火災の場合
- 4 死者：2名以上発生した火災

(注) 市来地域については、昭和57年1月13日の日置地区消防組合発足以降の統計である。

4 救急業務統計

(1) 救急業務の沿革

- S43.2 救急車1台(ニッサン・セドリック)を購入し、救急業務を任意で開始
- S44.9 消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
- S44.12 市来町、東市来町と救急業務応援協定を締結 S57.9.30 破棄 (S57.10.日置地区消防組合発足に伴い、破棄)
- S45.4 川内市と救急業務相互応援協定を締結 (S56.5.破棄)
- S45.5 薩摩郡里村、鹿島村、上甌村、下甌村、樋脇町と救急業務応援協定を締結
- S48.2 S57.3.31.破棄 (S56.4.川内地区消防組合発足に伴い、破棄)
- S48.3 生命保険協会から救急車1台(ニッサン・シベリアン)の寄贈を受け救急車2台となる。
- S52.9 日本消防協会から救急車1台(ニッサン・キャバンの)の寄贈を受く。
- S52.9 S43.2.購入の救急車(ニッサン・セドリック)を大隅曾於地区消防組合消防本部へ譲渡
- S56.2 日本自動車工業会から救急車1台(ニッサン・キャバンのハイルフ)の寄贈を受く。
- S56.2 S48.3.生命保険協会からの寄贈車を廃車
- S56.5 川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結 (H17.11.破棄)
- S57.10 日置地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結 (H17.12.破棄)
- H元.2 救急車1台(トヨタ2000cc)を購入し、S52.9.日本消防協会からの寄贈車を廃車
- H2.1 コーアガス鹿児島(株)から救急車1台(トヨタ2000cc)の寄贈を受く。
- H2.3 S56.2.日本自動車工業会からの寄贈車を運搬車に改造し、照島分団別府班に配置替え。(H7.2.廃車)
- H9.4 救急救命士第1号誕生
- H10.4 救急救命士2名となる。
- H11.4 救急救命士3名となる。
- H12.3 串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結
- H12.4 救急救命士4名となる。
- H12.11 高規格救急自動車(ニッサン・パラメック3300cc)及び高度救命処置用資器材を購入
- H13.1 高規格救急自動車等による高度救急業務を開始
- H13.2 救急車1台(H元.2)を廃車
- H13.4 救急救命士5名となる。
- H13.12 救急車1台(トヨタ3400cc)を購入し、H2.1.コーアガス鹿児島(株)からの寄贈車を廃車
- H14.4 救急救命士6名となる。
- H15.4 救急救命士7名となる。
- H16.4 救急救命士8名となる。
- H17.3 国土交通省鹿児島国道事務所等と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結
- H17.10 国分地区消防組合から救急車1台(トヨタ2400cc)を譲り受ける。
- H17.10 市来町との合併に伴い、現有救急車1台(トヨタ3400cc)をいちき分遣所に配置
- H17.11 薩摩川内市と「消防及び救急業務相互応援協定」を締結
- H17.12 鹿児島市消防局及び日置市消防本部との「南九州西回り自動車道における消防相互応援協定」を締結
- H17.12 日置市と「消防・救急業務相互応援協定」を締結
- H18.12 高規格救急自動車1台(ニッサン・パラメック3500cc)を購入し、いちき分遣所に配置
- H18.12 H17.10国分地区消防組合(現霧島市消防局)から譲り受けた救急車を廃車
- H20.5 救急救命士9名となる。

(2) 救急業務取扱状況

(H20年中)

事故種別 区分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他	
出場件数			1	1	96	10	5	146	1	9	551	355			30	1205
不搬送件数				1	8			12		4	37	1			2	65
搬送人員			3		95	10	5	134	1	5	514	354			28	1149
性別	男		3		49	8	5	62	1	2	261	195			12	598
	女				46	2		72		3	253	159			16	551

(3) 傷病程度別搬送状況

(H20年中)

事故種別 傷病程度		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死亡								4		2	19		25
重症					15	3		39		1	86	161	305
中等症					23	5	2	29	1	2	263	189	514
軽症			3		57	2	3	62			146	32	305
その他													
計			3		95	10	5	134	1	5	514	382	1149

(4) 診療科目別搬送状況 (H20年中)

診療科目	搬送人員
内科一般	65
循環器科	141
消化器科	128
呼吸器科	92
神経内科	15
小児科	13
新生物	25
外科一般	31
整形外科	182
形成外科	3
脳神経外科	299
脳卒中	231
頭部外傷	68
泌尿器科	21
皮膚科	2
熱傷	0
その他	2
産婦人科	12
耳鼻咽喉科	3
眼科	0
精神科	7
服毒・中毒	8
その他	102
合計	1149

(5) 搬送別状況 (H20年中)

搬送種別	搬送人員
条理搬送	466
依頼搬送	683
合計	1,149

(6) 覚知別出場状況 (H20年中)

覚知別	出場件数
専用(119)	699
加入電話	490
庁内電話	0
駆け込み	1
消防無線	10
その他	5
合計	1,205

(7) 居住地別搬送状況 (H20年中)

居住地別	搬送人員
市内居住者	932
市外居住者	216
その他	1
合計	1,149

(8) 救急救命処置実施状況 (H20年中)

救急救命処置	男	女
気道確保・除細動・輸液		
気道確保・除細動	1	
気道確保・輸液	1	
除細動・輸液		
気道確保	7	2
除細動	7	3
輸液	1	
合計	17	5

(9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況

(H20年中)

月別	事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他		
1	件数				9	1		16		2	46	31			1	106	5
	人員				9	1		15		2	42	31			1	101	
2	件数				8		1	8			44	32			3	96	5
	人員				6		1	8			41	32			3	91	
3	件数				9	1		14		1	54	25			5	109	7
	人員				8	1		12		1	52	25			4	103	
4	件数				10	1		13	1	1	35	24			1	86	8
	人員				9	1		12	1		30	24			1	78	
5	件数				6			9			35	19			1	70	1
	人員				6			9			35	19			1	70	
6	件数				4	1	1	9		1	50	35				101	4
	人員				4	1	1	8			48	35				97	
7	件数				13	3	1	13		1	35	29			3	98	3
	人員				13	3	1	13			34	29			3	96	
8	件数				2			15			61	28			2	108	7
	人員				2			14			55	28			2	101	
9	件数		1		5			6		1	37	24			2	76	5
	人員		3		5			5		1	34	23			2	73	
10	件数				10	1	2	14		2	50	30			6	115	6
	人員				9	1	2	12		1	48	30			6	109	
11	件数			1	9	1		16			49	35			1	112	7
	人員				11	1		14			45	35			1	107	
12	件数				11	1		13			55	43			5	128	7
	人員				13	1		12			50	43			4	123	
合計	出場数		1	1	96	10	5	146	1	9	551	355			30	1,205	65
	搬送人員		3		95	10	5	134	1	5	514	354			28	1,149	

(10) 曜日別救急出場状況

(H20年中)

曜日 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他の	
日				13		2	24		1	75	22			3	140
月			1	14			21		3	100	54			5	198
火				15		1	23	1	1	84	54			5	184
水		1		15	2		19			86	63			4	190
木				16	1		16		4	69	43			5	154
金				11	3		20			67	73			3	177
土				12	4	2	23			70	46			5	162
合計		1	1	96	10	5	146	1	9	551	355			30	1,205

(11) 現場到着所要時間別出場件数

(H20年中)

現場到着 事故種別	現場到着所要時間					計	現場到着平均 所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	105	244	138	60	4	551	4.9
交通事故	21	41	26	8		96	4.6
一般負傷	29	63	38	16		146	4.9
その他	65	230	102	14	1	412	4.1
合計	220	578	304	98	5	1,205	4.6

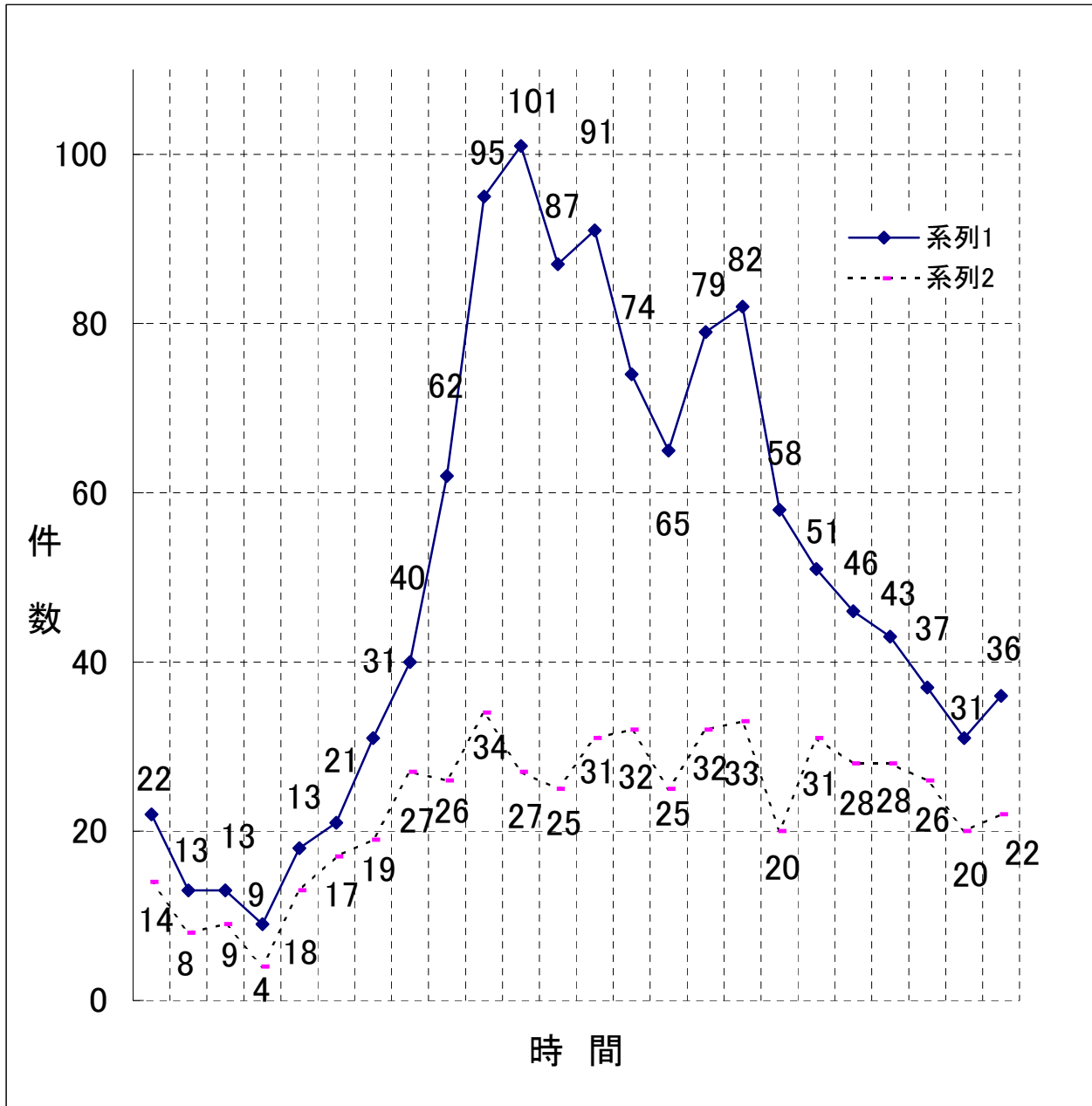
(12) 収容所要時間別搬送人員

(H20年中)

収容所要時間 事故種別	収容所要時間					計	収容平均 所要時間(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上		
急病	3	191	206	101	13	514	25.2
交通事故	3	37	35	13	7	95	26.0
一般負傷		54	53	26	1	134	23.5
その他	6	111	70	207	12	406	31.6
合計	12	393	364	347	33	1,149	27.3

(13) 時間別出場状況 (急病件数及び総件数)

(H20年中)

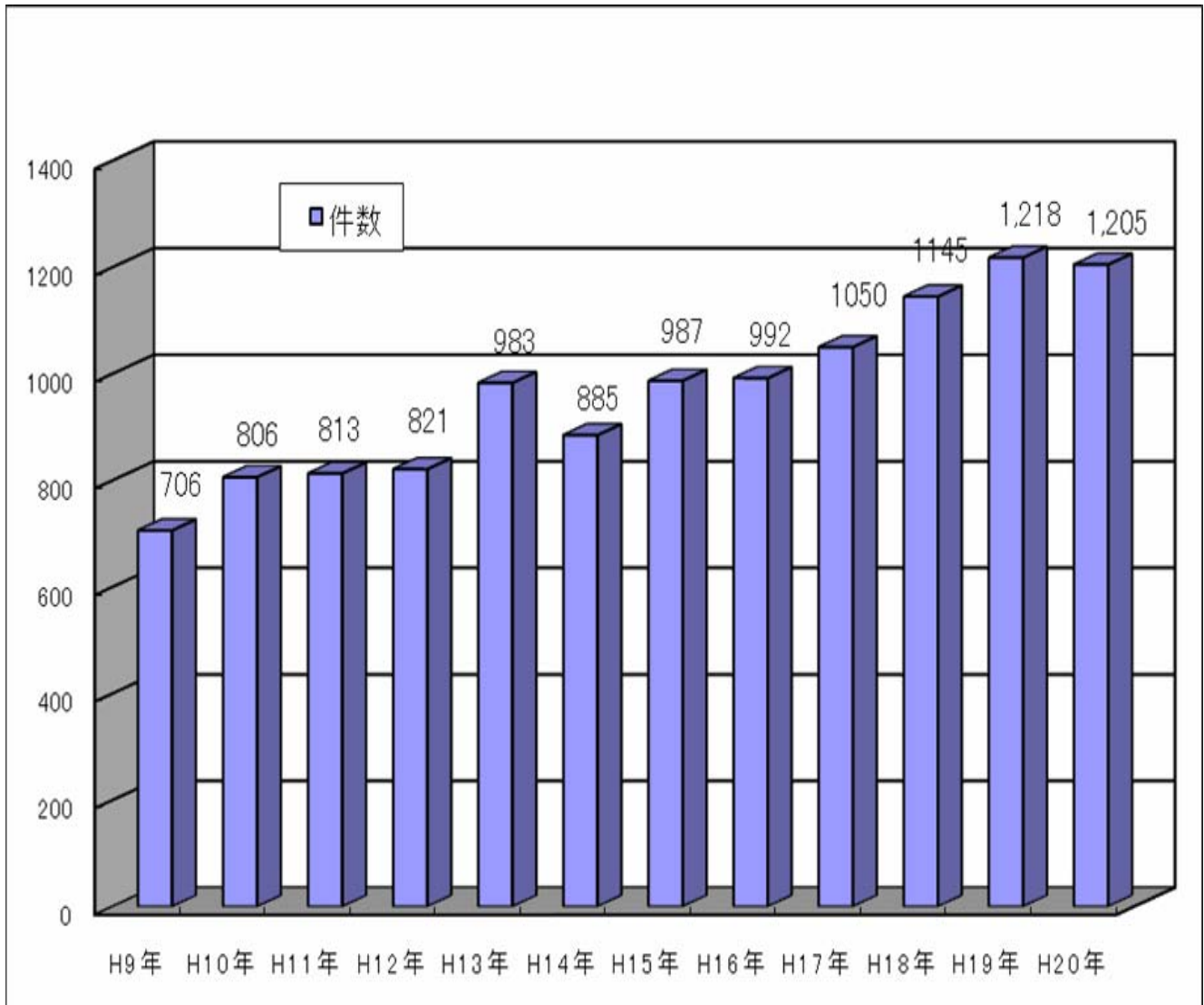


(14) 市別搬送状況 (搬送先)

(H20年中)

搬送先 区分	いちき串木野市	鹿児島市	薩摩川内市	日置市	その他	計
搬送人員	806	144	132	63	4	1,149
比率 (%)	70.1	12.5	11.5	5.5	0.4	100

(15) 救急出場件数の推移



(16) 過去5年間の救急出場状況

年別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
平成16年			1	3	55	17	8	110	3	12	388	336	1		58	992
平成17年		1		1	69	5	5	105	4	15	460	307			33	1,005
					8	2		8		1	591	5			45	
平成18年				5	92	8	7	121	3	7	559	305			38	1,145
平成19年		1		4	99	12	14	132	1	15	591	317			32	1,218
平成20年			1	1	96	10	5	146	1	9	551	355			30	1,205

平成17年の下段は、市来地域分

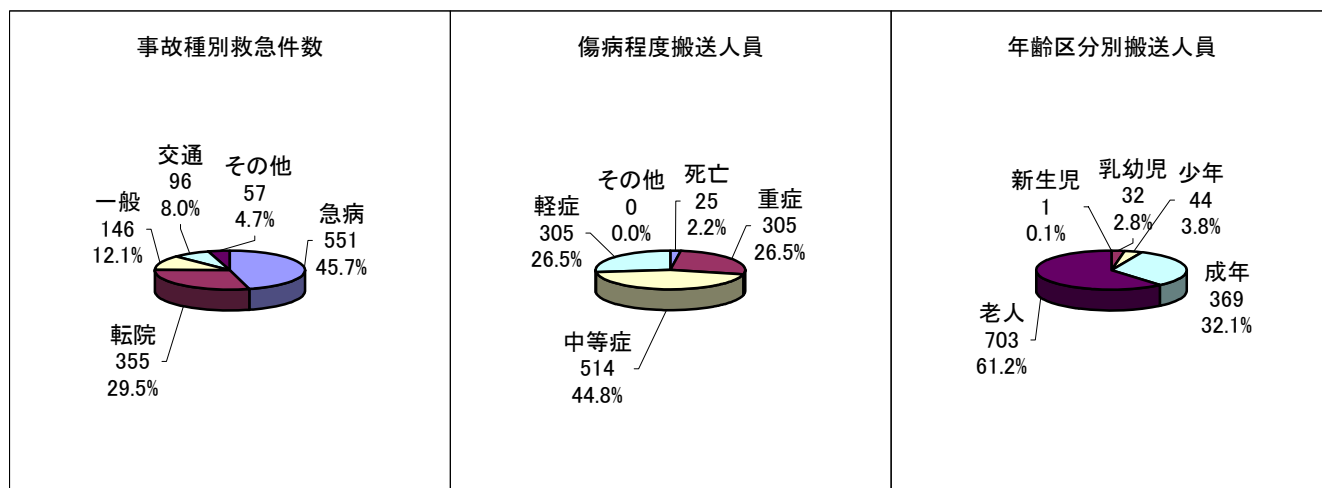
(17) 年齢別搬送人員状況

(H20年中)

年齢別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
0～9					2			8			20	6				36
10～19					17	1	5	3			15	7				48
20～29			1		8			3			24	8				44
30～39					6	2		3		2	24	15			2	54
40～49					7	3		9		2	26	6				53
50～59			2		8	1		4		1	49	32			1	98
60～69					23	3		21			83	62			2	194
70～79					12			30	1		114	93			8	258
80～89					12			36			109	97			11	265
90～								17			50	28			4	99
計		0	3	0	95	10	5	134	1	5	514	354	0	0	28	1,149

(18) 各比率

(H20年中)



※ 救急出場件数 1,205件
 ※ 搬送人員 1,149人

※ 年齢区分
 新生児 (生後28日以内)
 乳幼児 (29日以上7歳未)
 少年 (7歳以上18歳未)
 成人 (18歳以上65歳満)
 老人 (65歳以上)

5 救助業務統計

(1) 救助出動状況

(H20年中)

	月日	事故種別	災害発生場所	出動車両	出動人員	活動車両	活動人員	救助人員
1	1/14	交通事故	芹ヶ野 国道三号線 (藤沢水槽東側)	5	13	5	13	1
2	1/23	交通事故	大園 5165-4 (内堀酒店南側路上)	2	5			
3	2/2	交通事故	前田自動車南側交差点	3	8			
4	2/6	交通事故	内門公民館北側 (八房川)	5	14	5	14	1
5	2/17	交通事故	串木野漁港西側港内道路	2	6	2	6	1
6	3/15	交通事故	舟側から久福へ抜ける 三叉路南50m	2	6	2	6	1
7	4/3	交通事故	竹下工業前国道3号線上	3	9	3	9	2
8	4/10	交通事故	金山駐在所南西側国道3号線上	3	9	3	9	2
9	4/22	水難	別荘下から約30m沖の瀬上	1	4			
10	6/29	交通事故	新金山橋西側国同上	4	11	4	11	2
11	7/27	交通事故	南国碎石前県道上	2	5			
12	11/10	水難	フィッシャリーナ西側突堤	4	9	4	9	2
合 計				36	99	28	77	12

(2) 過去5年間の救助出動状況

区分		年				
		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
出動件数		11	14	9	13	12
活動件数		11	9	4	8	8
救助人員		12	11	4	12	12
事故種別	火災					
	交通事故	7	11	7	8	10
	水難事故	1	2		3	2
	自然災害					
	機械	1		1		
	建物	1				
	ガス・酸欠					
	爆発					
	その他	1	1	1	2	

6 応援協定等の締結状況

(H21.4.1 現在)

締結年月日	協 定 先 名	協 定 の 種 類
S36.9.25	いちき串木野警察署	災害救助に関する協定
S45.6.15	串木野海上保安部	船舶火災の消火に関する業務協定 H6.8.19 一部改正
S59.4.1	指宿地区消防組合	消防無線使用時の混信に関する協定
H9.9.24	日本地下石油備蓄(株)串木野事業所	串木野市と日本地下石油備蓄(株)串木野事業所との応援協定
H10.4.1	薩摩川内市消防局	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定
H10.6.26	県内各市町村及び各消防本部	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定
H12.3.1	いちき串木野市医師会	救急救命士に対する医師の指示に関する協定
H17.11.18	薩摩川内市	消防及び救急業務相互応援協定
H17.12.12	日置市	消防・救急業務相互応援協定
H18.10.25	県内市町村及び消防の一部事務組合	鹿児島県消防相互応援協定
H19.3.1	国土交通省鹿児島国道事務所 県警察本部交通部高速道路交通警察隊 薩摩川内市消防局	南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定
H19.3.2	鹿児島市 日置市 薩摩川内市	南九州西回り自動車道における消防相互応援協定

V 機 械 ・ 水 利

消 防 車 両	消防本部（署）・・・・・・・・・・	14台
	消防団・・・・・・・・・・	19台
消 火 栓	・・・・・・・・・・・・・・・・	534基
防 火 水 槽	・・・・・・・・・・・・・・・・	293基
消 防 無 線	基地局・・・・・・・・・・	2基
	固定局・・・・・・・・・・	2基
	陸上移動局（車載）・・・・・・・・	32基
	陸上移動局（携帯）・・・・・・・・	40基

1 消防力の整備指針と現有消防力との比較

(1) 消防本部（署）

(H21.4.1現在)

種 別 \ 区 分	基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
署所の数	2	2	100	0
人員	90	48	53.3	▲ 42
消防ポンプ車	3	3	100	0
はしご車	1	1	100	0
化学車	1	1	100	0
救急車	2	2	100	0
救助工作車	1	1	100	0
非常用消防自動車	1	1	100	0
非常用救急自動車	1	1	100	0

(2) 消防団

(H21.4.1現在)

種 別 \ 区 分		基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
市街地	動力消防ポンプ	8 口	消防ポンプ車 3 台 6 口	112.5	1 口
			小型動力ポンプ 3 台 3 口		
準市街地	動力消防ポンプ	20 口	消防ポンプ車 5 台 10 口	80	▲ 4 口
			小型動力ポンプ 6 台 6 口		
その他	動力消防ポンプ	13 口	消防ポンプ車 4 台 8 口	100	0 口
			小型動力ポンプ 5 台 5 口		
人 員		634 人	275 人	43.3	▲ 359 人

(3) 消防職・団員と市民との割合

(H21.4.1現在)

種 別 \ 区 分	消 防 職 員 (1 人 当 り)	消 防 団 員 (1 人 当 り)
世 帯 (13,459)	280.4	48.9
人 口 (31,424)	654.7	114.3

2 消防機械器具及び水利状況

(1) 消防署の消防車両状況

(H21.4.1現在)

種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月日	ポンプ性能	排気量	定 員	総重量	長 さ	幅	高 さ	備 考
					(ℓ/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
水槽付消防ポンプ自動車	三 菱	あかつき号	鹿児島88 ゆ 1046	H3.9.19	A-2日機 2,320	7,540	6	8,990	672	230	278	ディーゼル車
水槽付消防ポンプ自動車	日 野	いちきタンク車	鹿児島88 す 4843	H6.7.15	A-1吉谷	7,410	6	7,940	683	222	270	ディーゼル車 寄贈車
消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	いなずま号	鹿児島88 す 7312	H8.12.26	A-2日本造機 2,310	4,560	6	4,140	529	188	241	ディーゼル車
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	銀 河 号	鹿児島800 さ 9964	H19.3.23	A-2森田	4,000	6	5,370	575	189	280	ディーゼル車 石油交付金事業
梯子付消防自動車	日 野	は し ご 車	鹿児島88 ゆ 754	H2.10.16		7,410	6	12,660	995	249	340	ディーゼル車
化学消防自動車	三 菱	化 学 車	鹿児島88 ゆ 1343	H4.12.18	A-2日機 1,600	16,030	7	14,925	830	249	296	ディーゼル車
救 助 工 作 車	ニッサン ディーゼル	火災保険号	鹿児島88 ゆ 2150	H8.7.29		6,920	6	8,080	758	225	305	ディーゼル車 寄贈車
指 揮 広 報 車	ニッサン	さ の さ 号	鹿児島88 に 3465	H9.10.28		1,990	8	1,980	435	169	199	ガソリン車 寄贈車
高規格救急車	ニッサン	救急1号車	鹿児島800 さ 2323	H12.11.16		3,270	7	3,325	572	190	248	ガソリン車 石油交付金事業
救 急 車	トヨタ	救急2号車	鹿児島800 さ 3794	H13.12.6		3,370	7	2,705	544	180	242	ガソリン車
高規格救急車	ニッサン	救急いちき1号車	鹿児島800 さ 9643	H18.12.14		3,490	7	3,275	575	190	246	ガソリン車 石油交付金事業
軽 積 載 車	スバル	連 絡 車	鹿児島41 ゆ 8772	H10.8.27		650	2	970	329	139	151	ガソリン車 防災用交付車両
運 搬 車	ホ ン ダ	運 搬 車	鹿児島80 あ 1331	H13.3.29		650	2	1,440	339	147	193	ガソリン車 (県)貸与品原子力 防災資機材
軽 積 載 車	三 菱	いちきミニ車	鹿児島80 あ 1277	H12.9.13	B-3小型動力 ポンプを積載	650	2	1150	339	147	197	ガソリン車

(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況

ア 串木野地域

(H21.4.1現在)

分団名	種別	車種	車名	車両番号	登録年月日	ポンプ性能	排気量	定員	総重量	長さ	幅	高さ	備考
						(ℓ/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
団本部	指揮連絡車	トヨタ	団本部車	鹿児島88 す 6457	H8.3.18		2,180	8	2,060	469	169	210	ディーゼル車
中央	消防ポンプ自動車	日野	たつまき号	鹿児島800 さ 8954	H18.3.20	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	571	188	246	ディーゼル車・石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	いすゞ	すいせい号	鹿児島88 す 3250	H4.8.26		2,490	8	2,540	445	172	250	ディーゼル車・防災用交付車両
	小型動力ポンプ				H19.11.30	B-3トハツ 1,130	526						石油交付金事業
本浦	消防ポンプ自動車	三菱	あさかぜ号	鹿児島88 す 3357	H4.10.13	A-2 日機 2,310	4,210	10	4,070	522	189	245	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.17	B-3(レビット) 1,400	635						石油交付金事業
照島	消防ポンプ自動車	日野	照月号	鹿児島800 さ 8956	H18.3.20	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	567	188	246	ディーゼル車・石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	くろせ号	鹿児島88 す 5286	H6.12.16		1,990	9	2,665	499	167	250	ガソリン車
	小型動力ポンプ				H17.3.17	B-3(レビット) 1,400	635						石油交付金事業
羽島	消防ポンプ自動車	三菱	さちかぜ号	鹿児島88 す 2885	H4.3.17	A-2 日機 2,300	4,210	10	4,140	525	189	250	ディーゼル車
	小型動力ポンプ積載車	三菱	積載車	鹿児島800 さ 2254	H12.10.25		1,990	9	2,735	499	169	242	ガソリン車・石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H12.10.25	B-3トハツ 1,420	617						石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	あこう号	鹿児島800 す 745	H20.2.20		1,990	9	2,975	497	178	232	ガソリン車・石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H20.2.20	B-3トハツ 1,130	526						石油交付金事業
荒川	消防ポンプ自動車	ニッサン	荒星号	鹿児島88 す 1838	H2.10.26	A-2 日機 2,310	4,160	7	3,385	538	181	220	ガソリン車
	小型動力ポンプ				H13.12.18	B-3(シバウラ) 1,440	618						石油交付金事業
旭	消防ポンプ自動車	ニッサン	こがね号	鹿児島88 す 567	S63.11.30	A-2 日機 2,340	4,160	7	3,455	542	180	221	ガソリン車
	小型動力ポンプ				H13.12.18	B-3(シバウラ) 1,440	618						石油交付金事業
生福	消防ポンプ自動車	三菱	生龍号	鹿児島88 す 7166	H8.11.22	A-2 日機 2,370	4,560	10	4,220	524	189	241	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.17	B-3(レビット) 1,400	635						石油交付金事業
冠岳	消防ポンプ自動車	ニッサン	やまびこ号	鹿児島88 す 1090	H元.9.27	A-2 日機 2,340	4,160	7	3,455	536	181	234	ガソリン車
	小型動力ポンプ				H13.12.18	B-3(シバウラ) 1,440	618						石油交付金事業

イ 市来地域

(H21.4.1現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月日	ポンプ性能 (ℓ/分)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備 考
湊	消防ポンプ自動車	いすゞ	飛 竜	鹿児島88 す 8413	H 9.11.28	A-2 森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.3	B-3(ト-ハツ) 1420	617						石油交付金事業
川南	消防ポンプ自動車	日 野	蒼 竜	鹿児島800 す 779	H20.2.28	A-2 GMVいちほら	4,000	10	4,560	572	188	256	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H15.10.10	B-3(ト-ハツ) 1,440	617						石油交付金事業
川北	消防ポンプ自動車	いすゞ	海 竜	鹿児島88 す 8414	H 9.11.28	A-2 森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H17.3.3	B-3(ト-ハツ) 1420	617						石油交付金事業
川上	消防ポンプ自動車	日 野	昇 竜	鹿児島800 す 1382	H21.1.16	A-2 吉谷	4,000	10	4,730	588	188	252	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				H15.10.10	B-3(ト-ハツ) 1,440	617						石油交付金事業
市来支所	連 絡 車	トヨタ		鹿児島88 に 2766	H 7.12.21		1,990	5	1,755	464	169	169	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ 積 載 車	トヨタ	やまびこ	鹿児島88 す 4133	H 5.10.5		2,440	8	2,880	474	169	244	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				H10.12.14	B-3(ラビ ^レ ット) 1,440	635						

(3) 署・各分団ポンプ及びホースの保有状況

(H21.4.1現在)

署・団	ポンプ台数		ホース本数			
	ポンプ車	小型ポンプ	40mm	50mm	65mm	小計
消防署	3		19	71	96	186
分遣所	1	1	6	25	59	90
団本部					13	13
中央	1	1	2	19	60	81
本浦	1	1	2	24	55	81
照島	1		2	26	70	98
照島 (別府班)		1				
羽島	1	1	7	17	65	89
羽島 (土川班)		1				
荒川	1	1	2	18	58	78
旭	1	1	2	30	54	86
生福	1	1	2	23	44	69
冠岳	1	1	2	17	42	61
湊	1	1	0	0	60	60
川南	1	1	0	0	57	57
川北	1	1	0	0	54	54
川上	1	1	0	0	53	53
市来支所		1	0	0	30	30
合計	16	15	46	270	870	1186

(4) 消防資機材の保有状況

(H21.4.1 現在)

種別	車両等別								種別	車両等別									
	化学車	はしご車	救助工作車	あかつき号	いなづま号	銀河号	資材庫他	いちき分遣所		合計	化学車	はしご車	救助工作車	あかつき号	いなづま号	銀河号	資材庫他	いちき分遣所	合計
かぎ付はしご		1	1				2	1	5	ハンマードリル			1					1	
三連はしご(二連)			1	1	(1)	(1)	2(1)	1	5(3)	送排風機			1					1	
金属製折畳みはしご			1					1	2	ジェットシューター				3			5	8	
空気式救助マット			1				1		2	造林がま				3	5	4	2	14	
救命索発射銃			1				1		2	帯電衣(上・下)		2						2	
サバイバースリング			2						2	帯電長靴		2					2	4	
救助用縛帯		2	2					1	5	帯電ヘルメット		2						2	
平担架							4		4	車載固定型発電機			1					1	
ポートパワー			1				1		2	車載伸縮式照明装置			1					1	
可搬式ウインチ			1				2	1	4	車載固定型ウインチ			1					1	
エンジンカッター		1	1	1				1	4	発電機	1	1	1	1			3	2	9
ガス溶断器			1						1	投光器	1	2	1	1			1	2	8
チェーンソー			1				10	2	13	掛矢			1	1	3	1	3	1	10
鉄線カッター		1	1	1	1			1	5	斧	1	1			1		4	1	8
万能斧(ベンケイ)			2				2	1	5	スコップ	1	1	2	3	2	2	12	9	32
ハンマー	1	1	1				1	1	5	分岐金具(65×65)	1	1		2	1	1		2	8
可燃性ガス・酸素測定器			2					1	3	分岐金具(65×40)				1	1				2
空気呼吸器	3	4	4	4		3	5	7	30	放水銃				1				1	2
帯電手袋		2	3				2	1	8	プロジェクトガン(40m/用)				2	3			1	6
安全帯		3	9						14	ロータリーノズル				1				1	2
耐熱服	4								4	ピックアップノズル(2000型)				2		1	1	2	6
潜水器具一式			2				4		6	エアフォームノズル(4000型)	4								4
救命胴衣			9				11	3	23	泡放水銃(8000型)	2								2
救命浮環			5				3	2	10	ラインプロポーションナー				2				1	3
ゴムボート									0	ノズル付高圧ホース(30m)	2								2
バスケット担架			2					1	3	東消式簡易発泡器				2				1	3
携帯拡声器		1	1	1			10	2	15	ウォーターチャージャー				1					1
マット型空気ジャッキ式			1						1	ABC粉末(20型)消火器	2		1	2	1	1		2	9
大型油圧スプレッダー			1					1	2	防水シート	1	1	1	3	2	1	66	2	77
大型油圧切断機			1					1	2	オイルフェンス(A型)140m							1		1
鉄筋カッター(コードレス)			1						1	水中無線機			2						2
空気鋸			1					1	2	防毒マスク			3				3		6
大型油圧器具 (プランジャーラム)			1						1	なた			1	1	3		3	2	10

(5) 消火薬剤等の保有状況

(H21.4.1 現在)

合成界面活性剤（プロフォーム）	660 ℓ	
たんぱく泡（エアフォーム3%・6%）	2,840 ℓ	
油 吸 着	吸 着 マ ッ ト	383 枚
吸 収 材 等	吸 着（収）材	35 kg
流 出 油 処 理 剤	108 ℓ	
オイルフェンス（SO-200E）	140 m	

(6) 原子力防災資機材の保有状況

(H21.4.1 現在)

空気呼吸器（予備ボンベ付）	22 基	
ポケット線量計	アラーム機能なし	20 個
	アラーム機能あり	52 個
防 護 マ ス ク	325 個（フィルター512個）	
防 護 服	アノラック型	250 着
	タイベック型	250 着
防 護 靴	オーバーシューズ	230 足
防 護 手 袋	ゴ ム 製	250 双
	綿 製	250 双
携 帯 用 拡 声 器	5 基	
消防用無線機	車載型 10W	9 基
	携帯型 5W	6 基
ト ラ ン シ ー バ ー	4 基	
サーベイメータ（ポケット型含む。）	6 基	
夜間災害用発電機一式	5 組	
資機材運搬用車両	1 台	
パ ソ コ ン	2 台	
レ ー ザ ー プ リ ン タ ー	1 台	
脚付き両開きボード	1 台	
マルチプロジェクタ	1 台	
エ ア ー テ ン ト	1 式	
化 学 防 護 服	4 着	
衛 星 携 帯 電 話	1 基	
簡易放送用設備	1 式	
空気呼吸器拡声器（充電器含む。）	6 基	
デ ジ タ ル カ メ ラ	3 基	
ワ イ ヤ レ ス メ ガ ホ ン	1 式	

(7) 消防水利の状況 (消防水利の基準に適合しないものも含む。)

ア 串木野地域

(H21.4.1現在)

水利の別	地区別 配管及び水量	中	本	照	羽	荒	旭	生	冠	合	
		央	浦	島	島	川		福	岳	計	
消火栓 (公設)	350mm	1		1						2	
	300mm	7		2						9	
	250mm	7	1	1						9	
	200mm	8	9	4	1				4	26	
	150mm	39	18	20	8	4		5	3	97	
	100mm	55	9	21	11	3	4	15	2	120	
	75mm	24	7	13	18	5	11	5	3	86	
小計 A		141	44	62	38	12	15	25	12	349	
防火水槽 (公設)	40m ³ 以上	14	4	16	7	6	3	9	5	64	
	30m ³ 以上 40m ³ 未満	43	6	18	17	6	10	14	6	120	
	20m ³ 以上 30m ³ 未満	2	1	3	1		2		3	12	
	20m ³ 未満	5	1		2					8	
	(私設)	40m ³ 以上	1		1						2
	小計 B		65	12	38	27	12	15	23	14	206
プール	40 m ³ 以上	3		3	2	1	1	1	1	12	
河川	常時取水可能	7	1	3	2	3	1	4	2	23	
海水	常時取水可能		4	1	1					6	
小計 C		10	5	7	5	4	2	5	3	41	
総計 A+B+C		216	61	107	70	28	32	53	29	596	

イ 市来地域

(H21.4.1現在)

水利の別		地区別 配管及び水量	湊	川 南	川 北	川 上	合 計
消火栓 (公設)	200mm	14	0	0	0	14	
	150mm	6	7	5	0	18	
	125mm	1	0	0	0	1	
	100mm	21	13	19	10	63	
	75mm	19	15	10	15	59	
	65mm以下	3	5	14	8	30	
小計 A		64	40	48	33	185	
防火水槽 (公設)	40m ³ 以上	22	15	19	21	77	
	30m ³ 以上	1	1	1	0	3	
	40m ³ 未満						
	20m ³ 以上	0	0	5	0	5	
	30m ³ 未満						
(私設)	40m ³ 以上			2		2	
小計 B		23	16	27	21	87	
プール	40 m ³ 以上	1	2		1	4	
河川	常時取水可能	5		3	2	10	
海水	常時取水可能						
小計 C		6	2	3	3	14	
総計 A+B+C		93	58	78	57	286	

(8) 消防無線の状況

ア 消防本部

(H21.4.1現在)

局別	数	形式	電力	周波数	呼称	設置場所	購入年月	経過年数	会社名	再免年月	備考
基地局	2		10W	① 市波 149.15MHz	消串	消防本部	H6.7	13年	日本無線	H23.5	
				② 県波 148.21MHz							
固定局	2		1W	① 市波	消小ヶ倉	羽島小ヶ倉	H8.1	12年	日本無線	H23.5	
移動局 (車載)	15	F3	2W	○ 中継波 365.15MHz	消串本部	消防本部	H8.1	12年	日本無線	H24.11	
					消小ヶ倉	羽島小ヶ倉	H8.1	12年	日本無線	H24.11	
				① 市波	消串6	化学車	H6.12	13年	日本無線	H23.5	
				② 県波	消串9	積載車	H元.2	19年	日本無線	H23.5	
				① 市波 ② 県波	消串1	あかつき号	H19.2	1年	アイコム	H23.5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材
					消串2	いなづま号	H11.2	9年	日本無線	H23.5	
					消串3	銀河号	H11.11	8年	日本無線	H23.5	
				③ 全国波1 150.73MHz ④ 防災波 158.35MHz	消串4	さのさ号	H8.3	12年	日本無線	H23.5	
					消串5	はしご車	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
				消串7	火災保険号	H11.11	8年	日本無線	H23.5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材	
					消串8	連絡車	H11.11	8年	日本無線		H23.5
				救串2	救急2号車	H8.3	12年	日本無線	H23.5		
					消串10	運搬車	H14.3	6年	NEC	H23.5	
				③ 全国波1、2、3 ④ 防災波	救串1	救急1号車	H12.11	7年	日本無線	H23.5	
				① 市波 ② 県波	消い1	いちき タンク車	H6.7	13年	ゼネラル通信 システム	H22.5	
③ 全国波1、2、3	消い2	いちき ミニ車	H12.10		7年	ゼネラル通信 システム	H22.5				
	救い1	いちき 救急車	H18.12	1年	日本無線	H23.5					
移動局 (携帯)	22	5W	1W	① 市波 ② 県波	消串12	いなづま号	H8.10	11年	日本無線	H23.5	
				① 市波	消串11	あかつき号	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
					消串13	銀河号	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
					消串14	さのさ号	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
					消串15	はしご車	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
					消串16	化学車	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
					消串17	火災保険号	H18.2	2年	スタンダード	H23.5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材
				消串18	通信室	H18.2	2年	スタンダード	H23.5		
				② 県波	消串19	通信室	H18.2	2年	スタンダード	H23.5	
					消串20	通信室	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
				③ 全国波1	消串21	通信室	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
					消串22	通信室	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
				④ 防災波	消串23	救急1号車	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
					消串24	救急2号車	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
					消串25	通信室	H19.2	1年	アイコム	H23.5	
					消串26	通信室	H18.2	2年	スタンダード	H23.5	貸与品 (県)原子 力防災資 器材
					消串27	通信室	H17.1	3年	アイコム	H23.5	
					消串28	通信室	H17.1	3年	アイコム	H23.5	
消串29	分遣所	H17.12	2年	アイコム	H23.5						
消串30	分遣所	H17.12	2年	アイコム	H23.5						
消串31	分遣所	H17.12	2年	アイコム	H23.5						
消串32	分遣所	H17.12	2年	アイコム	H23.5						

イ 消防団

(H21.4.1現在)

局 別	数	形式	電力	周 波 数	呼 称	設 置 場 所	購 入 年 月	経 過 年 数	会 社 名	再 免 年 月	備 考				
移動局 (車載)	17	F3	10W	①市波 ②県波	消中3	中央分団 すいせい号	H9.3	11年	日本無線	H23.5					
					消照3	照島分団 くろせ号	H10.2	10年	日本無線	H23.5					
					消羽1	羽島分団 さちかぜ号	H10.2	10年	日本無線	H23.5					
					消土1	羽島分団 あこう号	H8.1	12年	日本無線	H23.5					
				①県波 ②市波 ③全国波 (1・2・3波)	消中1	中央分団 たつまき号	H18.3	2年	ゼネラル通信 システム	H23.5					
					消照1	照島分団 照月号	H18.3	2年	ゼネラル通信 システム	H23.5					
				①市波 ②県波 ③全国波 (1・2・3波) ④防災波	消団1	団本部車	H14.3	6年	NEC	H23.5	貸与品(県) 原子力防災 資器材				
					消旭1	旭分団 こがね号	H14.3	6年	NEC	H23.5					
					消湊1	湊分団 飛竜	H17.10	2年	日本無線	H23.5					
					消川南1	川南分団 蒼竜	H17.10	2年	日本無線	H23.5					
					消川北1	川北分団 海竜	H17.10	2年	日本無線	H23.5					
					消川上1	川上分団 昇竜	H17.10	2年	日本無線	H23.5					
					消市来支所1	市来支所分団 やまびこ	H17.10	2年	日本無線	H23.5					
				①市波 ②県波 ③全国波 ④防災波	消本1	本浦分団 あさかぜ号	H19.2	1年	アイコム	H23.5					
					消荒1	荒川分団 荒星号	H19.2	1年	アイコム	H23.5					
					消生1	生福分団 生龍号	H19.2	1年	アイコム	H23.5					
					消冠1	冠岳分団 やまびこ号	H19.2	1年	アイコム	H23.5					
				移動局 (携帯)	18	5W	①市波 ②県波 ③全国波 ④防災波	消団2	団本部	H16.6	3年	アイコム	H23.5		
								消団3	団本部	H16.6	3年	アイコム	H23.5		
								消羽2	羽島分団	H19.2	1年	アイコム	H23.5		
消荒2	荒川分団	H19.2	1年					アイコム	H23.5						
消旭2	旭分団	H19.2	1年					アイコム	H23.5						
消生2	生福分団	H19.2	1年					アイコム	H23.5						
消冠2	冠岳分団	H19.2	1年					アイコム	H23.5						
①市波 ②県波 ③全国波 (1・2・3波) ④防災波	消団4	団本部	H14.6				5年	モトローラ	H23.5						
	消団5	団本部	H17.10				2年	日本無線	H23.5						
	消団6	団本部	H17.10				2年	日本無線	H23.5						
	消中2	中央分団	H14.6				5年	モトローラ	H23.5						
	消本2	本浦分団	H14.6				5年	モトローラ	H23.5						
	消照2	照島分団	H14.6				5年	モトローラ	H23.5						
	消湊2	湊分団	H17.10				2年	日本無線	H23.5						
	消川南2	川南分団	H17.10				2年	日本無線	H23.5						
	消川北2	川北分団	H17.10				2年	日本無線	H23.5						
	消川上2	川上分団	H17.10				2年	日本無線	H23.5						
	消市来支所2	市来支所分団	H17.10				2年	日本無線	H23.5						
	種 別	火 災 救 護 そ の 他	計												
	通 信 回 数	147	7,735				15,373	23,255							

VI 気 象

年平均気温	18.0℃
-------	-------	-------

年間降水量	2,111.5mm
-------	-------	-----------

年平均風速	2.7m/s
-------	-------	--------

1 気象観測の状況

(H20年中) 【観測所：消防署】

月 区 分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
快晴日数	2	2	4	2	4	0	7	2	1	5	3	5	37	
晴天日数	10	12	13	14	15	5	17	11	13	12	8	9	139	
曇天日数	12	12	10	11	9	11	5	16	8	12	11	10	127	
雨天日数	7	3	4	3	3	14	2	2	8	2	8	7	63	
雪日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
降水日数	12	7	10	6	8	16	5	20	14	10	13	11	132	
降水量	76.0	50.0	90.0	119.0	253.5	527.5	58.0	213.0	471.5	70.0	136.0	47.0	2111.5	
最大 日降水量	3.0	13.5	6.5	17.0	25.0	38.5	14.5	40.5	26.5	34.5	18.5	2.0	最大/日 40.5	
風 速	平均	2.7	3.5	3.6	3.1	2.7	2.6	2.4	2.7	2.1	2.1	2.4	3.0	年平均 2.7
	瞬間最大	20.6	24.4	21.7	18.3	14.9	21.7	15.1	19.5	17.7	13.7	20.2	19.6	最大/年 24.4
気 温	平均	9.4	7.3	12.6	16.4	20.1	23.0	28.0	28.0	25.5	21.4	14.7	10.0	年平均 18.0
	最高	20.6	15.7	22.1	25.3	27.4	29.7	34.4	33.9	32.8	30.4	26.1	22.2	最高/年 34.4
	最低	1.4	-0.2	1.8	5.7	11.4	17.4	20.0	22.0	18.0	13.6	4.2	0.7	最低/年 -0.2
相 対 湿 度	平均	68.2	55.6	62.0	65.6	73.0	84.8	80.6	81.0	82.5	72.7	72.4	67.2	年平均 72.1
	最高	93.0	93.2	93.3	95.5	97.4	97.5	96.9	97.6	98.5	99.3	99.8	99.6	最高/年 99.8
	最低	23.9	23.7	15.7	27.5	35.1	48.5	33.3	52.5	46.7	25.2	31.3	22.3	最低/年 15.7
実 効 湿 度	平均	67.5	56.1	60.5	65.6	70.2	84.5	79.5	79.5	81.9	72.7	72.8	66.8	年平均 71.5
	最高	84.6	74.0	72.0	79.9	86.3	93.0	89.1	86.7	91.8	92.9	86.1	84.0	最高/年 93.0
	最低	44.9	44.1	52.0	51.5	48.5	69.3	61.4	59.1	72.5	51.7	64.1	53.7	最低/年 44.1
現 地 気 圧	平均	1019.3	1019.9	1015.1	1012.7	1008.0	1007.0	1007.9	1005.8	1009.2	1014.8	1017.7	1019.9	年平均 1013.1
	最高	1027.4	1032.8	1025.7	1020.6	1016.3	1014.2	1012.9	1012.2	1015.3	1021.3	1025.9	1028.6	最高/年 1032.8
	最低	1008.8	1009.0	1001.0	998.0	996.3	997.0	1002.5	999.9	998.9	1000.6	1008.3	1013.4	最低/年 996.3

備 考 天候の記録は、午前9時現在の観測である。
降水日数は、降水量が0.5mm以上あった日数である。

2 風向の状況

(H20年中)

月 \ 風向	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
北北東 (NNE)	35.5	13.8	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	3.2	3.3	19.4	26.7	19.4	10.7
北東 (NE)	16.2	20.8	41.9	43.4	58.1	40.0	48.2	48.3	86.8	45.1	43.3	35.5	44.0
東北東 (ENE)	0.0	0.0	3.2	6.7	6.5	10.0	0.0	12.9	3.3	3.2	0.0	0.0	3.8
東 (E)	3.2	0.0	9.7	3.3	3.2	0.0	6.5	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	2.4
東南東 (ESE)	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.5
南東 (SE)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
南南東 (SSE)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
南 (S)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	22.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
南南西 (SSW)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2	1.4
南西 (SW)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
西南西 (WSW)	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	10.0	6.5	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
西 (W)	0.0	3.4	9.7	13.3	22.6	20.0	9.7	3.2	0.0	0.0	3.3	0.0	7.1
西北西 (WNW)	3.2	6.9	22.6	3.3	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	3.8
北西 (NW)	3.2	24.1	0.0	13.3	3.2	0.0	0.0	0.0	3.3	6.5	6.7	9.7	5.8
北北西 (NNW)	22.6	13.8	6.5	10.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	9.7	3.3	9.7	6.8
北 (N)	16.1	17.2	0.0	0.0	3.2	3.3	0.0	0.0	3.3	12.9	16.7	16.1	7.4

※ 風向頻度 (%) を示す。

3 各地の降水量 (防災テレメーターによる。)

(H20年中)

月 \ 観測所	冠岳	生福	旭	荒川	羽島支所	土川	市来庁舎	消防署
1	77.0	86.0	100.0	93.0	80.0	72.0	61.0	76.0
2	47.0	54.0	64.0	51.0	49.0	47.0	45.0	50.0
3	77.0	98.0	104.0	101.0	86.0	81.0	88.5	90.0
4	103.0	127.0	132.0	135.0	124.0	112.0	126.0	119.0
5	172.0	248.0	289.0	289.0	309.0	336.0	238.5	253.5
6	411.0	593.0	614.0	502.0	451.0	390.0	495.5	527.5
7	27.0	82.0	72.0	43.0	39.0	48.0	46.0	58.0
8	245.0	274.0	242.0	212.0	231.0	207.0	176.5	213.0
9	409.0	483.0	517.0	441.0	388.0	349.0	420.0	471.5
10	67.0	72.0	90.0	79.0	58.0	65.0	51.5	70.0
11	144.0	149.0	159.0	145.0	131.0	121.0	135.0	136.0
12	61.0	64.0	75.0	73.0	66.0	61.0	43.5	47.0
合計	1,840.0	2,330.0	2,458.0	2,164.0	2,012.0	1,889.0	1,927.0	2,111.5

**火事と救急は
119番**

いちき串木野市消防本部

鹿児島県いちき串木野市昭和通 133-1

〒896-8601 電話 0996 (32) 0119

FAX 0996 (32) 4396